

第 27 回日本救急看護学会学術集会 プログラム集

革新と連携への振る舞い
EN(Emergency Nurses),be ambitious!

■ 会 期 ■

2025 年 11 月 7 日 (金)・8 日 (土)

■ 会 場 ■

札幌コンベンションセンター

■ 会 長 ■

三上 剛人

吉田学園医療歯科専門学校

■ 大会事務局 ■

北海道科学大学 保健医療学部看護学科

■ 運営事務局 ■

有限会社あゆみコーポレーション

〒 550-0001 大阪市西区土佐堀 1 丁目 4 番 8 号 日栄ビル 703A

TEL : 06-6131-6605

E-mail : jaen27@a-youme.jp

目 次

第 27 回日本救急看護学会学術集会会長 ご挨拶	1
交通のご案内	2
会場のご案内	3
示説会場のご案内	4
展示会場のご案内	5
日程表	6
参加者へのご案内	10
プログラム	
主要演題	12
共催セミナー	24
一般演題	25
協賛企業・団体一覧	58
企画実行委員名簿	59
第 28 回日本救急看護学会学術集会のご案内	60

第 27 回日本救急看護学会学術集会会長 ご挨拶

第 27 回日本救急看護学会学術集会

会長 三上 剛人

吉田学園医療歯科専門学校

この度、第 27 回日本救急看護学会学術集会を、2025 年 11 月 7 日(金)～ 11 月 8 日(土)の 2 日間、札幌コンベンションセンター（札幌市白石区）にて開催する運びとなりました。

私たち救急看護学会は、国民の保健・医療・福祉に寄与するため、救急看護の進歩、発展、普及を図ることを目的として設立され、27 年の時が過ぎようとしています。現在では、4000 人を超える会員とともに、救急看護の成果の発信はもとより、各委員会の活動として教育プログラムの開発や改善が活発に行われています。また、最近では学会認証制度も始まり、より質の高い救急看護師の育成に取り組んでおります。

ただ、救急医療を取り巻く環境は、医師の働き方改革、マンパワーの地域差、救急救命士法の一部改正による院内救急救命士の雇用の拡大、各種テクノロジーの導入など刻々と変化し続けているのは周知の事実です。この変化が著しい時代に加え、これからはより複雑で難しい社会が到来し、さらに気候変動が私たちの生活に影響を及ぼすことは想像に難くありません。このような状況下において、救急看護師は、先人たちが築き上げてきた礎の上に立ち、さらに革新的な取り組みを進めていく必要があると感じています。これからは、従来の枠にとらわれず、「あたりまえを超えていくマインド」を持ち、複雑な社会に柔軟に対応するために医療職種のみならず多くの方たちと連携していかなければなりません。

そこで本学術集会では、「革新と連携への振る舞い EN(Emergency Nurses), be ambitious!」をテーマに、最新の研究成果を発表し、未来の救急看護を担う若手看護師も含め、挑戦し成長し続けながら日々のケアを実践していくためには、どのようにこの複雑な社会に対応していくのかを、北海道の地で大いに議論していきたいと思います。

交通のご案内

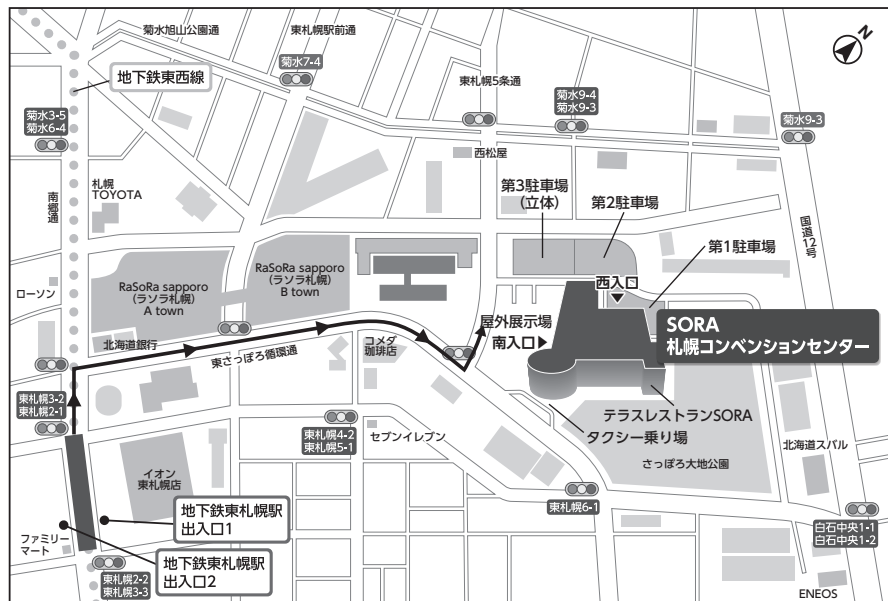
会場：札幌コンベンションセンター

〒 003-0006 北海道札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1

TEL. 011-817-1010

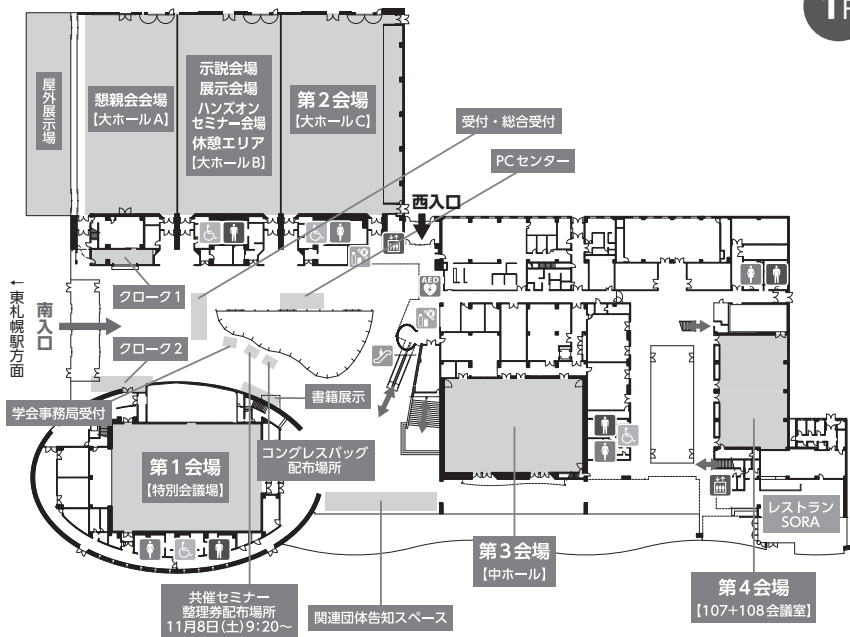
札幌市内は、市営地下鉄 3 路線のほか、市電、路線バス、JR があります。
各会場は地下鉄東西線「東札幌駅」が最寄駅です。

周辺案内

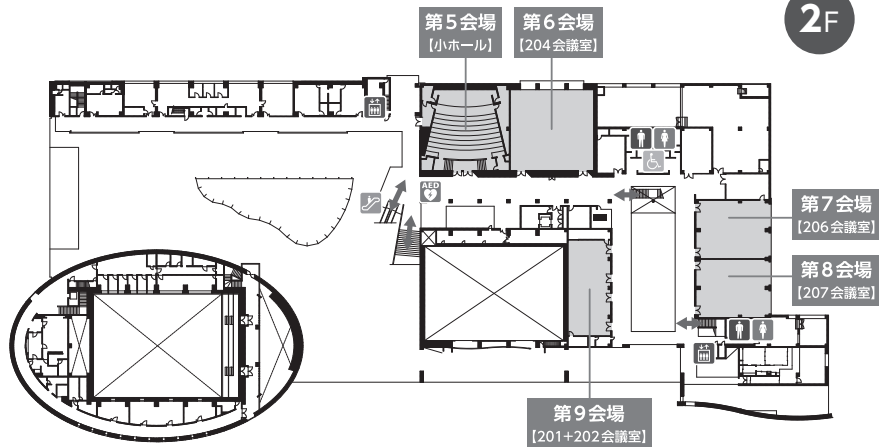


会場のご案内

1F

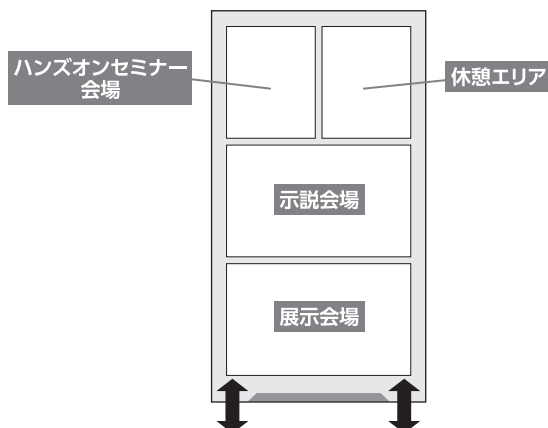


2F

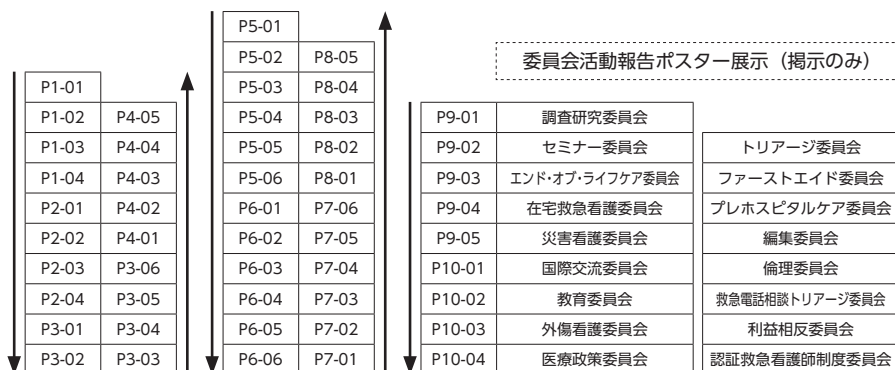


示説会場のご案内

●示説・展示会場(1階大ホールB)全体図



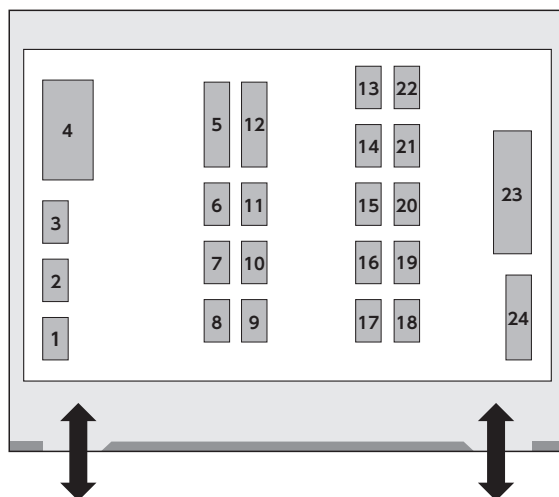
●示説(ポスター配置図)



開催日	日時	カテゴリー・セッション名	発表番号
11月7日(金)	10:30～11:10	示説1「チーム医療」	P1-01～04
	11:20～12:00	示説2「ACP」	P2-01～04
	14:20～15:20	示説3「救急外来看護①」	P3-01～06
	15:30～16:20	示説4「重症患者・家族看護」	P4-01～05
	16:40～17:40	示説5「プレホスピタルケア」	P5-01～06
11月8日(土)	9:40～10:40	示説6「看護教育①」	P6-01～06
	10:50～11:50	示説7「医療安全」	P7-01～06
	13:20～14:10	示説8「トリアージ」	P8-01～05
	14:30～15:20	示説9「救急外来看護②」	P9-01～05
	15:40～16:20	示説10「看護教育②」	P10-01～04

展示会場のご案内

●企業展示配置図



●企業展示一覧

1	吉田製薬株式会社	13	株式会社ヤマト
2	株式会社ビットエイジ	14	一般社団法人遺伝性血管性浮腫診断コンソーシアム
3	株式会社高研	15	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
4	日本ストライカー株式会社	16	フクダコーリン株式会社
5	株式会社メルシー	17	クロップライフジャパン
6	ニプロ株式会社	18	コンパテック ジャパン株式会社
7	レールダルメディカルジャパン株式会社	19	アルケア株式会社
8	未定	20	アンプ株式会社
9	株式会社 Gakken	21	メドライン・ジャパン合同会社
10	株式会社バイオデザイン	22	株式会社ヒュー・メックス
11	コニカミノルタ ジャパン株式会社	23	パラマウントベッド株式会社
12	エア・ウォーター・メディカル株式会社／ ヒルロムジャパン株式会社	24	ナスコ・ヘルスケア (Nasco Healthcare)

日程表 第1日目 11月7日(金)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
	1階 特別会議場	1階 大ホールC	1階 中ホール	1階 107+108会議室	2階 小ホール
9:30					
10:00	9:50-10:00 開会式 10:00-10:30 会長講演 座長：河合正成 演者：三上剛人	[革新と連携への振る舞い EN (Emergency Nurses), be ambitious!]			
11:00	10:40-12:10 シンポジウム1 「救急医療システムにおける 振る舞い(初期～三次)」 座長：山勢善江 神田直樹 シンポジスト：片岡美香 床尾羊翼 小野澤圭子 小笠原美奈	11:00-12:00 特別講演1 [FULL COMMIT] 座長：田口裕紀子 演者：石水創	10:30-12:00 シンポジウム2 「RRSにおける救急看護師の 振る舞い～RRSに救急看護師が 参画する意義について考える～」 座長：増山純二 門馬治 シンポジスト：小原秀樹 藤川真人 宇野翔吾 山田亨	10:30-11:10 一般演題(口演1) 「救急外来看護①」 座長：平尾明美 津川久仁江	10:30-11:10 一般演題(口演2) 「トリアージ①」 座長：瀧澤弘輝 小原環
12:00				11:20-12:00 一般演題(口演5) 「トリアージ②」 座長：新田直己 前田智香	11:20-12:00 一般演題(口演6) 「プレホスピタルケア②」 座長：寺村文恵 城田麻記
13:00		12:10-13:10 教育講演1 「組織の課題と向き合う ために知っておきたいこと」 座長：立野淳子 演者：上村修二	12:10-13:10 Pros & Cons 「新卒看護師は救命部門に 配置すべきか？」 座長：中田哲也 山中雄一 演者(Pros)： 角由美子 演者(Cons)： 藤崎隆志	12:10-13:10 一般演題(口演9) 「救急外来看護②」 座長：笠谷亜沙子 齋藤桂輔	12:10-13:10 一般演題(口演10) 「看護教育①」 座長：源本尚美 岡崎泉
14:00	13:20-14:20 会員総会				
15:00	14:30-15:30 特別講演2 「ダンスで極めた世界に 通用する戦略的思考」 座長：石川幸司 演者：政井海人(KITE)	14:50-16:20 シンポジウム3 「救急医療のコンフリクト を力に変える～看護師が つなぐチームの協働～」 座長：江川幸二 久間朝子 津田泰伸 大村正行 葛西陽子	14:50-16:20 交流集会2 「グローバル時代の救急看護－ 国際交流から学ぶ実践と課題」 座長：中村美鈴 演者：小島善和 藤村朗子 瀧村雅昭 横塚美紀 米嶋美晴 企画：国際交流委員会	14:20-15:20 一般演題(口演13) 「看護教育②」 座長：小池千佳子 丸林美代子	14:20-15:20 一般演題(口演14) 「チーム医療③」 座長：井川洋子 稲村あづさ
16:00	15:30-16:30 特別講演3 「看護力をアップする声の 処方箋」 座長：佐々木吉子 演者：シーフレットゲスト			15:30-16:30 一般演題(口演16) 「業務改善」 座長：吉野咲子 高橋安里	15:30-16:30 一般演題(口演17) 「家族看護①」 座長：奥田晃子 船水良太
17:00	16:40-17:40 教育講演2 「救急看護教育の常識を疑え！ 航空業界のトレンドから見えてくる 教育改革」 座長：野澤陽子 演者：中澤勇太 北川正博	16:40-17:40 教育講演3 「ドクターヘリ運航10年の 軌跡と未来：地域医療への 貢献と課題」 座長：佐藤憲明 演者：武山佳洋		16:40-17:40 一般演題(口演19) 「救急外来看護③」 座長：佐藤亜紀江 木村禎	16:40-17:40 一般演題(口演20) 「医療安全②」 座長：平山幸枝 矢野明美
18:00	18:00-20:00 懇親会				
20:00					

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	示説会場・展示会場	
2階 204会議室	2階 206会議室	2階 207会議室	2階 201+202会議室	1階 大ホールB	
					9:30
					10:00
10:30-11:10 一般演題(口演3) 「チーム医療①」 座長：宮田佳之 川端和美	10:30-11:10 一般演題(口演4) 「プレホスピタルケア①」 座長：西尾友子 上川智彦	10:30-12:00 交流集会1 「外傷看護における判断・実践・教育力の変容 ―臨床現場におけるJINTECの効果を考える―」 座長：山中雄一 佐伯悦彦 演者：井上千穂 峯田雅寛 立澤宏真 妻谷美奈子 真子敬史 企画：外傷看護委員会		10:30-11:10 一般演題(示説1) 「チーム医療」 座長：園田拓也 三浦友紀	11:00
11:20-12:00 一般演題(口演7) 「災害看護①」 座長：須田貴之 大河和美	11:20-12:00 一般演題(口演8) 「救急救命士①」 座長：降矢路子 河瀬亨哉			11:20-12:00 一般演題(示説2) 「ACP」 座長：尾崎美聡 新力ヨ	12:00
12:10-13:10 一般演題(口演11) 「チーム医療②」 座長：横田由佳 金濱英介	12:10-13:10 一般演題(口演12) 「重症患者看護①」 座長：三浦まき 石井優子		12:10-13:00 一般演題(デジタルポスター1) 「医療安全」 座長：加藤桂		13:00
					14:00
14:20-15:20 一般演題(口演15) 「医療安全①」 座長：木村千穂 高野裕子	14:20-15:50 若手企画 「あなたにとって働きやすい救急とは? リアルな声を共有しませんか?」 座長：小玉晴菜 大和美幸 演者：杉江亜希子 反田未希 小坂耕平 入澤愛	14:30-16:00 事前申込制 ワークショップ1 「『できる』が見える! 救急看護3コース体験①～学会認定制度が求めるラダーⅢレベルを確かめる～」 座長：増山純二 石井恵利佳 演者：苑田裕樹 市村健二 吉田米里 企画：外傷看護委員会 学会認定救急看護師制度委員会 セミナー委員会 トリアージ委員会		14:20-15:20 一般演題(示説3) 「救急外来看護①」 座長：高野千佳 細井麻美	15:00
15:30-16:30 一般演題(口演18) 「看護管理」 座長：西谷内由美 雀地洋平		16:10-17:40 事前申込制 ワークショップ2 「『できる』が見える! 救急看護3コース体験②～学会認定制度が求めるラダーⅢレベルを確かめる～」 座長：増山純二 石井恵利佳 演者：福島綾子 谷島雅子 山本恵子 企画：エンドオブ・ライフケア委員会 学会認定救急看護師制度委員会 在宅救急看護委員会、倫理委員会	15:30-16:20 一般演題(デジタルポスター2) 「看護教育」 座長：牧野夏子	15:30-16:20 一般演題(示説4) 「重症患者・家族看護」 座長：恩部陽弥 藤川千穂	16:00
16:40-17:40 一般演題(口演21) 「家族看護②」 座長：石川景子 神由里	16:40-17:40 一般演題(口演22) 「地域連携」 座長：泉谷勇 吉肇由香		16:40-17:40 一般演題(デジタルポスター3) 「チーム医療」 座長：日置真弓	16:40-17:40 一般演題(示説5) 「プレホスピタルケア」 座長：表佳代 岩崎翼	17:00
					18:00
18:00-20:00 懇親会					
					20:00

日程表 第2日目 11月8日(土)

	第1会場	第2会場	第3会場	第4会場	第5会場
	1階 特別会議場	1階 大ホールC	1階 中ホール	1階 107+108会議室	2階 小ホール
9:30					
10:00	9:40-10:40 教育講演4 「JRC蘇生ガイドライン2025の最新情報」 座長：洲本雅昭 演者：武田聡			9:40-10:40 一般演題(口演23) 「救急外来看護④」 座長：清江亜紀子 國分秀人	
11:00	10:50-11:50 教育講演5 「救急看護の歴史の変遷における「振る舞い」の特徴～看護学的考察～」 座長：中村美鈴 演者：菅原美樹	10:20-11:50 シンポジウム4 「新人・若手の「やる気」や「学び」を伸ばすための工夫」 座長：石井恵利佳 小越優子 シンボジスト：吉本文 神田直樹 小川謙 上澤弘美	10:20-11:50 シンポジウム5 「救急看護 DX ネクストステージ セカンド」 座長：桑村直樹 佐伯悦彦 シンボジスト：森山詠美子 中田徹朗 平山傑 苑田裕樹		10:20-11:50 パネルディスカッション1 「救急看護師の継続教育とキャリア継続の課題と対応～課題から学ぶこれからの形～」 座長：村上香織 山崎誠 パネリスト：尾崎美聡 松岡遼平 吉田紀子 杉本環
12:00		12:00-13:00 共催セミナー1 「市中病院における高機能ICUベッド導入とその効果～看護・医師視点からの実例紹介～」 座長：宇都宮明美 演者：楳村貴之 佐々木徹 共催：日本ストライカー会	12:00-13:00 共催セミナー2 「「睡眠環境」と「睡眠の見える化」からケア環境を改善する」 座長：三上育子 演者：藤野智子 春名純平 共催：バラマウントベッド衛		
13:00					
14:00	13:20-14:20 教育講演6 「救急看護師のキャリア形成のはなし～「コードブルー！」じゃなくて「コードドリーム！」～」 座長：藤野智子 演者：道又元裕	13:20-14:50 シンポジウム6 「超高齢社会に立ち向かう救急看護」 座長：芝田里花 星象人 シンボジスト：石田美由紀 守屋信昭 立野淳子 土倉万代	13:20-14:50 パネルディスカッション2 「医療機関に所属する救急救命士どこまで看護師と救急救命士は協働しているのか」 座長：藤井美幸 齊藤麻知子 パネリスト：喜賀斗智也 井沼浩政 佐々木信子 吉川英里	13:20-14:20 一般演題(口演27) 「救急外来看護⑥」 座長：山口弘子 高田久美	13:20-14:50 特別企画1 「JTAS2023 認定プロバイダーコース開催に関する説明会」 座長/発表者：木澤晃代 支援者：青戸陽子 石井恵利佳 多賀真佐美 奈良唯唯子 橋本真由美 主催：一般社団法人日本臨床救急医学会
15:00	15:00-16:30 特別企画2 「救急看護のアイデンティティ・専門性を考える」 座長：浅香えみ子 清水克彦 演者：二藤真理子 久間朝子 有澤文孝 指定発言者：八巻優哉 長沼美穂 芝田里花 三上剛人	15:00-16:30 パネルディスカッション3 「救急医療における特定行為研修修了者の振る舞い～特定行為修了者の看護実践と今後の展望について語る～」 座長：斎藤大介 後小路隆 パネリスト：三浦友也 天谷愛 洲本雅昭 桑村直樹	15:00-16:30 ラウンドテーブルディスカッション 「ドクターカーチームとしての役割～まだまだ知られていないドクターカーの魅力～」 座長：大瀧友紀 福田ひろみ 演者：五藤真由 渡久地佳奈 岩崎寛 岡野由美 中川成昭 宮田佳之 企画：プレホスピタルケア委員会	14:30-15:30 一般演題(口演29) 「看護教育④」 座長：多久和善子 松本蘭	
16:00				15:40-16:30 一般演題(口演33) 「災害看護②」 座長：木野毅彦 武政輝希	15:30-16:30 一般演題(口演32) 「チーム医療⑤」 座長：小川謙 岩本満美
16:30-16:45	閉会式				
17:00					

第6会場	第7会場	第8会場	第9会場	示説会場・展示会場	
2階 204会議室	2階 206会議室	2階 207会議室	2階 201+202会議室	1階 大ホールB	
9:40-10:40 一般演題(口演24) 「重症患者看護②」 座長：斉藤徳子 白石朋子	9:40-13:20 CNセミナー 「体験型チャレンジ企画： いただきますナース！救命道 ～北の大地で頂上決戦！～」 座長/演者：後小路隆 中田徹朗 清水克彦 主催：日本救急看護認定 看護師会	10:20-11:50 交流集会3 「災害時における地域、医療、 行政の連携の現状と今後の課題」 座長：小澤美津子 泥谷朋子 演者：山本恵子 土倉万代 北山哲也 水野伸也 企画：災害看護委員会 在宅救急看護委員会	10:50-11:50 一般演題 (デジタルポスター4) 「救急外来看護」 座長：石ヶ森重之	9:40-10:40 一般演題(示説6) 「看護教育①」 座長：背戸陽子 眞鍋万里子	9:30
10:50-11:50 一般演題(口演26) 「看護教育③」 座長：樺山定美 大田麻美				10:50-11:50 一般演題(示説7) 「医療安全」 座長：島美貴子 庄野亜矢子	11:00
12:00-13:00 共催セミナー3 「口腔ケアの質向上による VAP 発生率低減の可能性」 座長：渡邊裕 演者：宮澤恭子 伊井仁美 共催：ニプロ㈱					12:00
13:20-14:20 一般演題(口演28) 「チーム医療④」 座長：清末定美 中川雄樹		13:20-14:20 交流集会4 「意識消失のファーストエイド～問一答 ～脳卒中/ハビリテーション看護認定 看護師との夢のコラボレーション」 座長：中村香代 藤崎隆志 演者：久松正樹 企画：ファーストエイド委員会	13:20-14:10 一般演題 (デジタルポスター5) 「重症患者・家族看護」 座長：井川由貴	13:20-14:10 一般演題(示説8) 「トリアージ」 座長：鈴木幹子 太田文子	13:00
14:30-15:30 一般演題(口演30) 「医療安全③」 座長：古地敬利 寺地沙緒里	14:30-15:30 一般演題(口演31) 「重症患者看護③」 座長：新山紗千 徳山博美	14:30-15:50 交流集会5 「知って得する 論文掲載 までのプロセス－査読者の 視点をふまえて－」 座長：江川幸二 演者：城丸瑞恵 企画：編集委員会	14:30-15:20 一般演題 (デジタルポスター6) 「訓練・教育」 座長：船木淳	14:30-15:20 一般演題(示説9) 「救急外来看護②」 座長：川崎沙羅 前田晃史	14:00
15:40-16:30 一般演題(口演34) 「終末期看護 (エンドオブライフケア)」 座長：村中沙織 本田智治	15:40-16:30 一般演題(口演35) 「救急救命士②」 座長：伊藤和恵 神谷弥生			15:40-16:20 一般演題(示説10) 「看護教育②」 座長：五十嵐佳奈 石崎清華	15:00
					16:00
					17:00

参加者へのご案内

■はじめに

- ・本学術集会は現地にて開催いたします。ライブ配信、オンデマンド配信の実施はございません。
- ・参加登録方法や当日のご案内につきましては、右記QRコードより学術集会ホームページの「参加者へのご案内」をご確認ください。



■受付場所・日時

場所	日時
1 階エントランスホール	11 月 7 日(金) 9 : 30 ~ 17 : 00
	11 月 8 日(土) 9 : 20 ~ 16 : 00

■参加登録費

事前参加登録：2025 年 7 月 1 日(火) 13 : 00 ~ 8 月 29 日(金) 17 : 00

通常・当日参加登録：2025 年 9 月 5 日(金) 正午 ~ 11 月 8 日(土) 16 : 00

区分	事前参加登録	通常・当日参加登録
会員・会員申請中	12,000 円 (不課税)	14,000 円 (不課税)
非会員	13,000 円 (不課税)	15,000 円 (不課税)
学生	2,000 円 (不課税)	2,000 円 (不課税)

■受付方法

1) 参加登録とお支払いを完了された方

- ・参加登録システムから参加証(以下名札)を印刷し、ご持参ください。
- ・ネームホルダーは受付付近にご用意しております。名札を入れ、会期中は常にご着用ください。

2) 参加登録とお支払いがお済みでない方

- ・ご自身の端末から参加登録とお支払いをお済ませください。
※お支払いはWEB上での決済のみとなります。現金での受付はできませんのでご注意ください。
- ・「参加証ダウンロード」ボタンから表示された名札をご提示いただいた方に、名札をお渡しいたします。
- ・ネームホルダーは受付付近にご用意しております。名札を入れ、会期中は常にご着用ください。
- ・当日の受付は混雑が予想されますので、事前に参加登録とお支払いはお済ませいただくことをおすすめします。

■プログラム集・電子抄録アプリ・WEB 抄録について

1) プログラム集

【会員】

- ・9月30日(火)時点で会員の方には、会員情報に登録されているご住所へプログラム集を送付いたします。当日に忘れた場合、会場でお渡しすることはできませんので、忘れずにご持参ください。
- ・新たにご入会、年会費をお支払いいただいた会員の方で、参加登録をお済ませの方：名札を着用のうえ、会期当日「学会事務局受付」へお越しください。会員情報を確認のうえ、プログラム集をお渡しいたします。数に限りがございますので、無くなり次第販売終了いたします。

【非会員・学生】

- ・名札を受付へご提示ください。プログラム集をお渡しいたします。数に限りがございますので、無くなり次第配布を終了いたしますこと、ご了承ください。

【購入について】

- ・プログラム集をお忘れの方、購入希望の方には、受付にて1冊 1,100円（税込／現金のみ）で販売いたします。数に限りがございますので、無くなり次第販売終了いたします。

2) 電子抄録アプリ

- ・講演情報の閲覧や、聴講したいセッション・演題のスケジュール管理ができるアプリをご利用いただけます。
- ・App Store または Google Play にて「Confit-学会アプリ」を検索し、ダウンロードしてください。または、学術集会ホームページからも、ダウンロードいただけます。
- ・アプリを起動すると大会一覧が表示されます。「第27回日本救急看護学会学術集会」で検索し、該当のアイコンをタップしてデータをダウンロードしてください。
※抄録の閲覧にはパスワードが必要です。パスワードは、参加登録・お支払いを完了された方へ、ご登録のメールアドレス宛に送付いたします。

3) WEB 抄録集

- ・抄録本文はWEB上（電子抄録アプリ・WEB抄録）でご確認いただけます。
学術集会ホームページ内のバナーよりダウンロードいただけます。
- ※抄録の閲覧にはパスワードが必要です。パスワードは、参加登録・お支払いを完了された方へ、ご登録のメールアドレス宛に送付いたします。

■クローク

- ・会期中は、下記の場所、日時でご利用いただけます。

場所	日時
クローク1（1階 大ホール側）	11月7日(金) 9:30～18:00
クローク2（1階特別会議場側）	11月8日(土) 9:20～17:00

- ・お荷物は必ずご利用時間内にお引き取りください。時間外のお預かりはいたしかねます。
- ・貴重品、パソコン、傘はお預かりできませんので、あらかじめご了承ください。
- ・混雑時にはお預かりにお時間をいただく場合がございますので、時間に余裕をもってご利用ください。
- ・11月7日（金）の懇親会にご参加の方は、事前にクロークにて手荷物をお引き取りのうえ、ご参加ください。

主要演題プログラム

会長講演

第1会場 11月7日(金) 10:00～10:30

座長：河合 正成（岐阜県立看護大学 機能看護学領域）

PL 革新と連携への振る舞い EN(Emergency Nurses),be ambitious!
三上 剛人（吉田学園医療歯科専門学校）

特別講演1

第2会場 11月7日(金) 11:00～12:00

座長：田口裕紀子（札幌医科大学 保健医療学部看護学科）

SL1 [FULL COMMIT]
石水 創（株式会社コンサドーレ）

特別講演2

第1会場 11月7日(金) 14:30～15:30

座長：石川 幸司（北海道科学大学 保健医療学部看護学科）

SL2 ダンスで極めた世界に通用する戦略的思考
政井 海人(KITE)（プロダンサー）

特別講演3

第1会場 11月7日(金) 15:30～16:30

座長：佐々木吉子（東京科学大学大学院保健衛生学研究科 災害・クリティカルケア看護学分野）

SL3 看護力をアップする声の処方箋
シークレットゲスト

教育講演1

第2会場 11月7日(金) 12:10～13:10

座長：立野 淳子

EL1 組織の課題と向き合うために知っておきたいこと
上村 修二（札幌医科大学 医学部 医療安全・病院管理学講座 准教授（病院教授）、
札幌医科大学 救急医学講座 兼任、札幌医科大学附属病院 経営戦略部
副部長）

教育講演2**第1会場 11月7日(金) 16:40～17:40**

座長：野澤 陽子（順天堂大学医学部附属順天堂医院 看護部）

EL2**救急看護教育の常識を疑え！
航空業界のトレンドから見えてくる教育改革**

中澤 勇太（株式会社 LUXURY FLIGHT）

北川 正博（株式会社アトラエ）

教育講演3**第2会場 11月7日(金) 16:40～17:40**

座長：佐藤 憲明（日本医科大学付属病院 看護部教育支援室）

EL3**ドクターヘリ運航 10 年の軌跡と未来：地域医療への貢献と課題**

武山 佳洋（市立函館病院 救命救急センター）

教育講演4**第1会場 11月8日(土) 9:40～10:40**

座長：瀧本 雅昭（東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター）

EL4**JRC蘇生ガイドライン2025の最新情報**

武田 聡（東京慈恵会医科大学 救急災害医学講座）

教育講演5**第1会場 11月8日(土) 10:50～11:50**

座長：中村 美鈴（名古屋市立大学大学院）

EL5**救急看護の歴史的変遷における「振る舞い」の特徴－看護学的考察－**

菅原 美樹（札幌市立大学）

教育講演6**第1会場 11月8日(土) 13:20～14:20**

座長：藤野 智子（聖マリアンナ医科大学病院）

EL6**救急看護師のキャリア形成のはなし
～「コードブルー！」じゃなくて「コードドリーム！」～**

道又 元裕（ヴェクソンインターナショナル株式会社）

「救急医療システムにおける振る舞い（初期～三次）」

座長：山勢 善江（湘南医療大学 保健医療学部看護学科）
神田 直樹（北海道医療大学 看護福祉学部）

- SY1-1 時代の変化をふまえた救急看護師の振る舞い～初期救急の立場から～
片岡 美香（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）
- SY1-2 二次救急医療機関としての振る舞いと在り方
床尾 羊翼（社会医療法人仙養会 北摂総合病院）
- SY1-3 三次救急における看護師の振る舞い
～理想と現状、今後の展望を考える～
小野澤圭子（東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター）
- SY1-4 三次救急医療における重篤患者・家族への医療者の振る舞い
～地域の特性を踏まえて～
小笠原美奈（秋田赤十字病院 ICU）

「RRS における救急看護師の振る舞い
～ RRS に救急看護師が参画する意義について考える～」

座長：増山 純二（令和健康科学大学 看護学部看護学科）
門馬 治（日本医科大学武蔵小杉病院 看護部）

- SY2-1 救急看護師の役割拡大と Rapid Response System（RRS）における
貢献：患者アウトカム改善に向けて
小原 秀樹（聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院 ICU）
- SY2-2 当院において救急看護師が MET に参画することの意義
藤川 真人（社会医療法人誠光会 淡海医療センター）
- SY2-3 救急看護師は RRS の要となる存在
～大切なのは多角的視点と度胸である～
宇野 翔吾（東海大学医学部付属八王子病院）
- SY2-4 DX 時代の RRS における救急看護師の役割
～NEWS スコアを活用したリアルタイム介入の可能性～
山田 亨（東邦大学医療センター大森病院 看護管理室）

「救急医療のコンフリクトを力に変える～看護師がつなぐチームの協働～」

座長：江川 幸二（神戸市看護大学）
久間 朝子（福岡大学病院）

-
- SY3-1 看護師の視点で考える救急現場のコンフリクト
～対立の理解と対応～
三上 育子（市立釧路総合病院 救急外来）
- SY3-2 衝突を協働へ変える看護の力：救急現場のコンフリクト・ターニング
津田 泰伸（聖マリアンナ医科大学病院 看護部/TQM 室）
- SY3-3 現場と組織、院内と地域をつなぐ看護師長の実践
－“受けたい現場”と“受けられない現実”をつなぐ調整力とは－
大村 正行（薬師寺慈恵病院）
- SY3-4 救急医療の現場に求められるコンフリクト・マネジメント
葛西 陽子（手稲溪仁会病院 看護管理室）

「新人・若手の「やる気」や「学び」を伸ばすための工夫」

座長：石井恵利佳（獨協医科大学埼玉医療センター 看護部）
小越 優子（滋賀医科大学医学部附属病院 看護部6C病棟）

-
- SY4-1 Z世代ナースのリアル勉強法からみえてくる
若手育成の効果的なアプローチ
吉本 文（株式会社照林社）
- SY4-2 現代学生の特性を踏まえた学びのデザイン
－やる気と主体性を引き出す大学教育の工夫－
神田 直樹（北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科）
- SY4-3 若手看護師を育てる側（指導者）による教育・指導の工夫
小川 謙（JCHO北海道病院）
- SY4-4 個に寄り添う教育で“やる気”を引き出す
－救命救急センターにおけるラダー活用の実践－
上澤 弘美（総合病院 土浦協同病院 看護部）

「救急看護 DX ネクストステージ セカンド」

座長：桑村 直樹（医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院）
佐伯 悦彦（東京医科大学病院 看護部）

SY5-1 外傷ドクターカーの DX 化がもたらした当院の外傷看護の変化

森山詠美子（島根大学医学部附属病院 看護部 E-ICU）

SY5-2 宝塚市立病院の目指す未来

中田 徹朗（宝塚市立病院）

SY5-3 救急看護 DX が進まない理由——“できるのにやらない”現場の壁と二輪駆動での突破策

平山 傑（札幌徳洲会病院）

SY5-4 生成 AI を活用した教育 DX の実践：学習支援ツールプロトタイプを紹介

苑田 裕樹（令和健康科学大学）

「超高齢社会に立ち向かう救急看護」

座長：芝田 里花（医療法人久仁会 宇都宮病院）
星 豪人（医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院）

SY6-1 在宅医療の現状とこれから
～救急搬送を減らすために何ができるか～

石田美由紀（医療法人社団優希八軒内科ファミリークリニック）

SY6-2 超高齢社会における集中治療の限界と救急看護の役割
～意思決定支援の現場から～

守屋 信昭（埼玉医科大学国際医療センター救命救急センター ICU）

SY6-3 後期高齢者の生理学的特性に基づく臨床判断スキル習得のための教育体制の整備と地域との ACP の連携強化に向けて

立野 淳子

SY6-4 救急看護師が地域を知ることの意義 ～生活を見据えた救急看護～

土倉 万代（医療法人土倉内科循環器クリニック）

「救急看護師の継続教育とキャリア継続の課題と対応
ー課題から学ぶこれからの形ー」

座長：村上 香織（近畿大学病院）
山崎 誠（愛媛県立中央病院 高度救命救急センター ICU）

-
- PD1-1 中堅看護師の教育的負担軽減に向けた救命ラダーの導入と
育成支援体制の工夫
尾崎 美聡（独立行政法人国立病院機構北海道医療センター）
- PD1-2 “極める”だけが正解じゃない！
救急看護師の多様なキャリアと学びを支える組織のかたち
松岡 遼平（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター）
- PD1-3 救急看護師の継続教育とキャリア継続に関する課題から考える
これからの形ー看護管理者・大学院修了者の立場からー
吉田 紀子（獨協医科大学病院 集中治療センター）
- PD1-4 救急看護師の継続教育とキャリア形成ー課題から学ぶこれからの形ー
杉本 環（日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程）

「医療機関に所属する救急救命士
「どこまで看護師と救急救命士は協働しているのか」」

座長：藤井 美幸（国立国際医療センター）
齊藤麻知子（公益社団法人 日本看護協会 看護研修学校）

-
- PD2-1 救急救命士制度の変遷と未来像
～医療機関の救急救命士の現状と課題～
喜熨斗智也（日本救急救命士会、国土舘大学大学院救急システム研究科）
- PD2-2 院内救急救命士からみた看護師との協働
井沼 浩政（医療法人徳洲会 札幌東徳洲会病院）
- PD2-3 A 病院救命救急センターにおける院内救命士の業務実施体制の現状と
課題
佐々木信子（青森県立中央病院救命救急センター）
- PD2-4 A 病院における救急看護師と院内救命士の協働の成果と課題
吉川 英里（飯塚病院 救命救急センター）

「救急医療における特定行為研修修了者の振る舞い
～特定行為修了者の看護実践と今後の展望について語る～」

座長： 斉藤 大介（国立病院機構北海道医療センター 救命救急センター）
後小路 隆（令和健康科学大学 看護学部看護学科）

PD3-1 救急医療における特定行為の実践と対応フェイズについて

三浦 友也（公立大学法人横浜市立大学附属病院 看護部）

PD3-2 三次救急病院において特定看護師が活躍するために

天谷 愛（東京都立広尾病院）

PD3-3 A 大学病院における特定行為看護師の活動等に関する現状や課題
～看護管理者の立場から～

瀧本 雅昭（東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター）

PD3-4 救急医療における特定行為研修修了者の役割と期待

桑村 直樹（医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院）

「新卒看護師は救命部門に配置すべきか？」

座長： 中田 哲也（獨協医科大学病院 看護部 救命救急センター）
山中 雄一（京都大学医学部附属病院 救命救急センター）

PC-1 新卒看護師は救命部門に配置すべき
救急外来における新人看護師育成の取り組み
～3年間の実践とその成果～

Pros： 角 由美子（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院）

PC-2 新人を配置する前に問うべきこと
～救命部門への新卒看護師配置をめぐる再考～

Cons： 藤崎 隆志（小倉記念病院）

「JTAS2023 認定プロバイダーコース開催に関する説明会」

座長 / 発表者：木澤 晃代 (公益社団法人 日本看護協会)

SP1 支援者：背戸 陽子 (日本医科大学付属病院)
 石井恵利佳 (獨協医科大学埼玉医療センター)
 多賀真佐美 (倉敷中央病院)
 奈良唯唯子 (神奈川工科大学)
 橋本真由美 (福島県立医科大学大学院)

主催：一般社団法人 日本臨床救急医学会

「救急看護のアイデンティティ・専門性を考える」

座長：浅香 えみ子 (公益社団法人 日本看護協会)
 清水 克彦 (医療法人知音会 京都新町病院)

SP2 演者：二藤真理子 (りんくう総合医療センター)
 久間 朝子 (福岡大学病院)
 有澤 文孝 (東千葉メディカルセンター)
 指定発言者：八巻 優哉 (公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 災害医療・高度救命救急センター ICU/CCU)
 長沼 美穂 (市立札幌病院 救命救急センター)
 芝田 里花 (医療法人久仁会 宇都宮病院)
 三上 剛人 (吉田学園医療歯科専門学校)

「あなたにとって働きやすい救急とは?! リアルな声を共有しませんか?」

座長：小玉 晴菜 (東北大学病院 高度救命救急センター)
 大和 美幸 (札幌医科大学附属病院)

YP-1 救急医療現場における三方よし
 杉江亜希子 (滋賀医科大学医学部附属病院)

YP-2 働きやすい救急 × 初療教育
 反田 未希 (東京女子医科大学附属足立医療センター 救命ICU)

YP-3 「私にもできる、続けられる」－救急の魅力と働きやすさ
 小坂 耕平 (和泉市立総合医療センター)

YP-4 救急看護における ICT の実践的活用
 ～業務効率化・情報共有・教育の観点から～
 入澤 愛 (前橋赤十字病院 高度救命救急センター 救急外来)

「外傷看護における判断・実践・教育力の変容
—臨床現場におけるJNTECの効果を考える—」

座長：山中 雄一（京都大学医学部附属病院）
佐伯 悦彦（東京医科大学病院）

-
- M1-1 JNTEC は現場で活かされているか？
—修了者の外傷初期看護実践にみる効果と今後の課題—
井上 千穂（川崎医科大学附属病院 看護部）
- M1-2 救急現場の“最初の看護”とは
—プレホスピタル領域における外傷看護の実践と特有の困難性
峯田 雅寛（山形県立中央病院 救急室）
- M1-3 救急初療室で求められる看護師の判断力
～多職種連携の中で果たす看護師の実践的役割～
立澤 宏真（春日井市民病院 救急部）
- M1-4 その瞬間、家族をどう支えるか
～初療における患者・家族への寄り添いとケア～
妻谷美奈子（地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター）
- M1-5 現場で“育つ・育てる”外傷看護
—OFF-JT,OJT を通じた教育的支援の実践
真子 敬史（久留米大学病院 高度救命救急センター）

企画：外傷看護委員会

「グローバル時代の救急看護 — 国際交流から学ぶ実践と課題」

座長：中村 美鈴（名古屋市立大学大学院看護学研究科 クリティカルケア看護学分野）

-
- M2-1 海外の看護から学ぶ
— INC&EAFONS2025・WADEM2025 参加報告—
小島 善和（東京情報大学 看護学部 看護学科）
藤村 朗子（東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科）
- M2-2 救急外来や救命救急センターに従事する看護師の外国人患者に対する
救急看護の現状と課題—調査研究より—
湊本 雅昭（東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター）
- M2-3 外国人患者受け入れ経験の少ない救命救急センターにおける
看護の現状と課題
横塚 美紀（獨協医科大学病院 救命救急センター）

M2-4 周産期ドクターカーにおける外国人妊婦の対応における課題

米嶋 美晴 (総合病院 土浦協同病院・ER)

企画：国際交流委員会 (中村 美鈴・榊 由里・小島 善和・藤村 朗子・
中田 哲也・上澤 弘美・淵本 雅昭・渡邊 好江)

交流集会3

第8会場 11月8日(土)10:20～11:50

「災害時における地域、医療、行政の連携の現状と今後の課題」

座長：小澤美津子 (聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院)

泥谷 朋子 (東京医療保健大学 立川看護学部 看護学科)

M3

山本 恵子 (合同会社Connect Station 代表 Connect Nursing 訪問看護ステーション)

土倉 万代 (土倉内科循環器クリニック)

北山 哲也 (金沢医科大学病院)

水野 伸也 (富山赤十字病院)

企画：災害看護委員会、在宅救急看護委員会

交流集会4

第8会場 11月8日(土)13:20～14:20

「意識消失のファーストエイド一問一答 ～脳卒中リハビリテーション看護認定看護師との夢のコラボレーション」

座長：中村 香代 (国立国際医療センター)

藤崎 隆志 (小倉記念病院)

M4

久松 正樹 (中村記念南病院)

企画：ファーストエイド委員会

交流集会5

第8会場 11月8日(土)14:30～15:50

「知って得する 論文掲載までのプロセス－査読者の視点をふまえて－」

座長：江川 幸二 (神戸市看護大学)

M5

城丸 瑞恵 (天使大学大学院)

企画：編集委員会(江川幸二、城丸瑞恵、本田可奈子、井川由貴、河合正成、
樫山定美、藤井誠、八尾みどり、大山祐介、三橋睦子)

「ドクターカーチームとしての役割
～まだまだ知られていないドクターカーの魅力～」

座長：大瀧 友紀（聖隷三方原病院）
福田ひろみ（徳島赤十字病院）

RTD 五藤 真由（あいち小児保健医療総合センター）
渡久地佳奈（国立病院機構災害医療センター）
岩崎 翼（市立半田病院）
岡野 由美（大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター）
中川 成昭（東京科学大学病院）
宮田 佳之（長崎大学病院）

企画：プレホスピタルケア委員会

「“できる”が見える！救急看護3コース体験①
～学会認証制度が求めるラダーⅢレベルを確かめる～」

座長：増山 純二（令和健康科学大学、学会認証救急看護師制度委員会）
石井恵利佳（獨協医科大学埼玉医療センター、学会認証救急看護師制度委員会）

WS1 苑田 裕樹（令和健康科学大学、外傷看護委員会）
市村 健二（株式会社Vitaars、セミナー委員会）
吉田 栄里（豊田厚生病院、トリアージ委員会）

企画：外傷看護委員会、学会認証救急看護師制度委員会、
セミナー委員会、トリアージ委員会

「“できる”が見える！救急看護3コース体験②
～学会認証制度が求めるラダーⅢレベルを確かめる～」

座長：増山 純二（令和健康科学大学、学会認証救急看護師制度委員会）
石井恵利佳（獨協医科大学埼玉医療センター、学会認証救急看護師制度委員会）

WS2 福島 綾子（北海道科学大学、エンド・オブ・ライフケア委員会）
谷島 雅子（自治医科大学附属病院、倫理委員会）
山本 恵子（合同会社Connect Station、在宅救急看護委員会）

企画：エンド・オブ・ライフケア委員会、学会認証救急看護師制度委員会、
在宅救急看護委員会、倫理委員会

「体験型チャレンジ企画：いただきナース！救命道 ～北の大地で頂上決戦！～」

CN

座長／演者：後小路 隆（令和健康科学大学）

座長／演者：中田 徹朗（宝塚市立病院）

座長／演者：清水 克彦（医療法人知音会 京都新町病院）

主催：日本救急看護認定看護師会

共催セミナープログラム

共催セミナー1

第2会場 11月8日(土) 12:00～13:00

「市中病院における高機能 ICU ベッド導入とその効果
～看護・医師視点からの事例紹介～」

座長：宇都宮明美（関西医科大学 看護学部・看護学研究科）

LS1-1 当院における ICU 高機能ベッド導入とその効果
～看護の標準化と看護業務効率の向上を目指して～

樫村 貴之（茨城県立中央病院・地域がんセンター）

LS1-2 重症患者管理における ICU ベッドの進化と臨床的活用
～高機能ベッドの導入と運用から見える新たな可能性～

佐々木 徹（総合南東北病院 救急集中治療科）

共催：日本ストライカー株式会社

共催セミナー2

第3会場 11月8日(土) 12:00～13:00

「「睡眠環境」と「睡眠の見える化」からケア環境を改善する」

座長：三上 育子（市立釧路総合病院救命救急センター）

LS2-1 DX の視点から、2050 年の急性期医療の展望

藤野 智子（聖マリアンナ医科大学病院 看護部）

LS2-2 救急・重症患者の眠れる治療空間を目指して

春名 純平（札幌医科大学附属病院 集中治療部）

共催：パラマウントベッド株式会社

共催セミナー3

第6会場 11月8日(土) 12:00～13:00

「口腔ケアの質向上による VAP 発生率低減の可能性」

座長：渡邊 裕（北海道大学大学院 歯学研究院 口腔健康科学分野 高齢者歯科学教室）

LS3-1 口腔ケアキットを活用した VAP 発生予防に向けた
看護管理者としての取り組みとその成果

宮澤 恭子（愛知医科大学病院 高度救命救急センター）

LS3-2 クリティカルケア認定看護師の視点から見た口腔ケアキットを
活用した VAP 発生予防に向けた取り組みとその成果

伊井 仁美（愛知医科大学病院 高度救命救急センター）

共催：ニプロ株式会社

一般演題プログラム

一般演題(口演1)

第4会場 11月7日(金) 10:30~11:10

「救急外来看護①」

座長：平尾 明美 (千里金蘭大学)
津川久仁江 (名寄市立総合病院 救命救急センター)

-
- 1-01 看護師判断による救急車の応需実績と評価
山本 克英 (神戸百年記念病院)
- 1-02 A 病院の救急外来患者の滞在時間に影響を与える要因の分析
茂住 江美 (千葉中央メディカルセンター)
- 1-03 A 病院の ER における病院移転前後の医療提供体制について
～脳卒中疑い症例をもとに考察する～
加藤 未来 (トヨタ記念病院 ER トヨタ)
- 1-04 北米型救急の医療システムを採用する
A 病院救命救急センター看護師の意識している看護実践
川村 和司 (熊本赤十字病院)

一般演題(口演2)

第5会場 11月7日(金) 10:30~11:10

「トリアージ①」

座長：瀧澤 紘輝 (神戸市立西神戸医療センター)
小原 環 (国家公務員共済組合連合会 斗南病院)

-
- 2-01 夜間二次救急外来電話トリアージ未経験看護師の不安軽減と
マニュアル作成の取り組み
鵜澤 利恵 (公立長生病院)
- 2-02 救急看護師のトリアージ判断を支援する
AI 技術の世界的動向と今後の課題
石貫 智裕 (札幌医科大学 保健医療学部 看護学科)
- 2-03 救急センターにおける院内トリアージ実践と教育の効果：
現状評価と今後の展望
吉川 静 (一般財団法人 住友病院)

- O2-04 電話トリアージの評価に関する後方視的研究
～外来看護師による「折り返し電話」を実施して～**
富田 千怜 (松下記念病院)

一般演題(口演3)

第6会場 11月7日(金) 10:30～11:10

「チーム医療①」

座長：宮田 佳之 (長崎大学病院 高度救命救急センター)
川端 和美 (北海道大学病院中央診療検査ナースセンター)

- O3-01 三次救急医療施設における初療室で医師が期待する看護師の役割**
石野田かおり (地方独立行政法人東京都立病院機構東京都立多摩総合医療センター)
- O3-02 急性期病院で夜間に看護師から電話報告を受ける医師の思い**
水野 伸也 (富山赤十字病院)
- O3-03 高度救命救急センターにおける女性看護師が男性看護師に期待する職務・役割に関する調査**
岡本 昌憲 (川崎医科大学附属病院 高度救命救急センター)
- O3-04 集中治療室における看護師による調整の阻害要因の実態**
橋本 直弥 (北海道科学大学保健医療学部看護学科)

一般演題(口演4)

第7会場 11月7日(金) 10:30～11:10

「プレホスピタルケア①」

座長：西尾 友子 (旭川赤十字病院 救命救急センター HCU・救急外来)
上川 智彦 (株式会社メディホス)

- O4-01 グラウンドナースによる家族看護の実践**
白上 哲平 (大阪府済生会千里病院)
- O4-02 プレホスピタルケアにおける若年者自死症例の看護師の関わり
—未成年の第一発見者への家族支援を通して—**
山口 愛鈴 (日本医科大学多摩永山病院)
- O4-03 ドクターヘリ搬送患者へのフライトナースの看護実践と専門性**
緒方 暁子 (大分大学医学部附属病院)
- O4-04 フライトナースの多職種協働に向けた調整力の構造と
その発揮のプロセス**
野澤 陽子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)

「トリアージ②」

座長：新田 直巳（市立札幌病院 救急外来・内視鏡画像センター）
前田 智香（横浜南共済病院 ICUCCU）

-
- O5-01 救急来院患者への看護師が行う緊急度・重症度判定に関する現状調査
城山 凌（国立大学法人佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター）
- O5-02 A 病院におけるアンダートリージの傾向と要因についての検討
荻野 充（平塚共済病院）
- O5-03 A 病院におけるトリージカンファレンスからみえた
トリージナースの思考と今後の課題
鷲尾 和（トヨタ記念病院）
- O5-04 トリージ教育におけるワークショップの導入とその効果
柳原 恵美（あいち小児保健医療総合センター）

「プレホスピタルケア②」

座長：寺村 文恵（三重大学医学部附属病院）
城田 麻記（群馬大学医学部附属病院 救命救急センター）

-
- O6-01 グラウンドナースの育成に関する教育プログラムの検討
～『不安』や『困難な局面』に焦点を当てて～
名和 毅（茨城西南医療センター病院）
- O6-02 ドクターカー同乗看護師がプレホスピタルケア実践時に直面する困難
佐野真由美（自治医科大学附属病院）
- O6-03 ドクターカー合同検証会に基づくシミュレーションの実践
～その効果と課題～
高井 純太（中東遠総合医療センター）
- O6-04 Dr.car ナース育成の課題
廣瀬 裕加（宝塚市立病院）

「災害看護①」

座長：須田 貴之 (大阪赤十字病院 救命救急センター)
 大河 和美 (公立能登総合病院)

-
- O7-01 ICUにおける災害対応力を高める職場づくりに向けた訓練の取り組み**
 山路佳代子 (九州大学病院 集中治療部)
- O7-02 急性期病棟における災害シミュレーション訓練の実施と課題**
 飯野 亜希 (公益財団法人筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院)
- O7-03 大規模災害における効果的な災害医療への取り組みに対する課題の検討～ビデオモニタリング分析をもとに～**
 内野 碧 (鹿児島大学病院救急部)
- O7-04 電子カルテ停止へ備えた取り組み～システムダウン訓練の重要性について～**
 桶屋 朋恵 (湘南藤沢徳洲会病院)

「救急救命士①」

座長：降矢 路子 (川口市立医療センター)
 河瀬 亨哉 (市立函館病院 救命救急センター管理係)

-
- O8-01 DNAR に対する院内救命士と救急看護師の心情と行動～グループインタビューを通して見えた職種間の違い～**
 高橋 大介 (勤医協中央病院救急センター)
- O8-02 院内救命士と看護師の協働
 —A 病院における実践と教育を通じた協働の実践—**
 山口 愛鈴 (日本医科大学多摩永山病院)
- O8-03 改正救急救命士法の現状と課題を看護師視点より抽出し未来につなぐ**
 能登路賀一 (医療法人徳洲会 宇治徳洲会病院)
- O8-04 A 病院に勤務する救急救命士が希望する教育に関するニーズ**
 鈴木 幹子 (医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック)

「救急外来看護②」

座長：笠谷 亜沙子（社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 集中治療センター）
齋藤 桂輔（日本医科大学武蔵小杉病院）

-
- 9-01 救急センター・PICU の熟練看護師の捉えた小児 CPA 対応時の思考と実践
奥村 玲奈（社会医療法人愛仁会 高槻病院 救急センター）
- 9-02 小児心肺停止患者受け入れ準備のためのアクションカードを用いたシミュレーション学習が看護師に与える効果
長村 美優（聖路加国際病院）
- 9-03 救急外来における小児のモニタリング基準
知屋城優輝（湘南鎌倉総合病院）
- 9-04 成人対応の救命救急センターにおける重症小児救急専用の蘇生バックの運用とその効果
清水 淳代（大阪けいさつ病院）
- 9-05 小児の初療対応時の、物品の再整備とチームダイナミクスの強化にむけた取り組み
小石 千陽（昭和医科大学病院 救命救急センター）
- 9-06 高度救命救急センターにおける小児救急患者に対するトリアージ票導入後の実態調査
永野 一碧（佐賀大学医学部附属病院 救命救急センター）

「看護教育①」

座長：源本 尚美（市立札幌病院 救命救急センター）
岡崎 泉（川崎医科大学附属病院）

-
- 10-01 急変対応・技術研修時に行ったシミュレーションセンター専従看護師との連携と研修効果の報告
山田 勇斗（長崎大学病院 高度救命救急センター）
- 10-02 A 病院における予期せぬ院内心肺停止減少のための急変シミュレーションの効果～第2報～
川中 直美（福岡赤十字病院）

- 10-03 急変時対応能力向上への取り組みと今後の展望
～チームで競う院内メディカルラリー開催の効果～
古堅 健 (社会医療法人敬愛会 中頭病院救急診療部)
- 10-04 急変時対応のリフレクションに対し使用した
テンプレートシートの評価
永島 佳子 (島根大学医学部付属病院)
- 10-05 A 病院の院内蘇生教育の向上を目指した取り組み
～BLS・ALS コースの参加状況から明らかになったこと～
津川永遠美 (武蔵ヶ丘病院)
- 10-06 院内急変時の看護—中堅看護師の教育とID理論—
栴田 成美 (宗教法人 在日本南プレス日テリアンミッション 淀川キリスト教病院)

一般演題(口演11)

第6会場 11月7日(金)12:10～13:10

「チーム医療②」

座長：横田 由佳 (杏林大学医学部付属病院 看護部)
金濱 英介 (手稲溪仁会病院 看護部)

- 11-01 救急救命士養成課程病院実習における看護師による指導の現状
大塚 翔太 (埼玉医科大学国際医療センター 救命救急センター外来)
- 11-02 ER とオーバーナイト病床を運営する病棟との連携による
チーム医療の発揮について
吉野 直也 (ベルランド総合病院)
- 11-03 看護師による急性期脳卒中患者の嚥下機能評価における
ASAP の活用
加藤 雅 (名古屋掖済会病院)
- 11-04 離床に消極的な患者に対し早期離床を行うために
看護師の役割について
左京 ゆみ (高知医療センター)
- 11-05 ER 滞在時間に影響する因子について
～ER タイムアウト導入後の後方視的多変量解析から～
日高 利章 (藤沢市民病院救命救急センター救急外来)
- 11-06 Code ELVO における初療看護師教育の実践と評価
～シミュレーションによる効果的アプローチ～
中田 誓菜 (湘南鎌倉総合病院)

「重症患者看護①」

座長：三浦 まき（昭和医科大学江東豊洲病院 看護部）
石井 優子（札幌医科大学附属病院 高度救命救急センターHCU 病棟）

-
- 12-01 入院前の生活を取り入れた脳出血術後高齢者のせん妄予防看護
三浦 夢歩（仙台医療センター）
- 12-02 当院における術後せん妄減少に向けた術前訪問の取り組み
花澤かおり（誠高会おおたかの森病院 ICU）
- 12-03 救急集中治療室（EICU）における看護師のせん妄予防、
せん妄対応に対する現状と意識調査
田端 里之（佐賀大学医学部附属病院）
- 12-04 夜間救急病床におけるせん妄発症リスクと看護的示唆
宮脇 礼（広島市民病院）
- 12-05 当院外科系集中治療室における質問票を用いた睡眠満足度調査
齋藤 末希（日本医科大学付属病院外科系集中治療室）
- 12-06 リハビリ意欲が低下した ICU 患者へ愛犬との非接触型面会を
導入した一事例
齊藤 麻衣（千葉県総合救急災害医療センター）

「看護教育②」

座長：小池千佳子（市立札幌病院）
丸林美代子（国家公務員共済組合連合会 浜の町病院）

-
- 13-01 救命センターにおけるブレンド型学習を用いた学習支援
—OJT に向けたマイクロラーニング型教材の開発—
西野 明子（東京都立墨東病院救命救急センター）
- 13-02 救急外来における教育システム構築と今後の課題
橋本 翼（公立置賜総合病院 救命救急センター救急外来）
- 13-03 ER における生涯学習支援体制の改革による課題解決への取り組み
佛性千賀子（大津赤十字病院）

○13-04 挿管チューブに起因する褥瘡予防の教育が患者の褥瘡発生率にどのような影響を与えるか

清川ひかり（日本大学医学部附属板橋病院）

○13-05 カンファレンスが救急看護ヒューマンケアリング実践能力の醸成に及ぼす影響

坪井日菜乃（社会医療法人財団 池友会 新行橋病院 外来）

○13-06 救急領域における看護師の倫理的行動に影響する倫理カンファレンスの要因

阿部 哲郎（地方独立行政法人 明石市立市民病院 / 兵庫医科大学大学院 看護学研究科 博士前期課程）

一般演題(口演14)

第5会場 11月7日(金) 14:20～15:20

「チーム医療③」

座長：井川 洋子（総合病院 土浦協同病院）

稲村あづさ（奈良県総合医療センター）

○14-01 A 病院救命救急センターにおける特定看護師による特定行為についての調査

成田 裕介（地方独立行政法人 東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター）

○14-02 特定行為研修修了者が進める A 病院におけるタスクシフト

松山奈津美（社会医療法人 陽明会 小波瀬病院）

○14-03 特定行為研修修了者がもたらす実践的效果～看護業務の効率化と質の向上を目指して～

永吉 善勝（社会医療法人陽明会 小波瀬病院）

○14-04 くも膜下出血患者への特定行為の早期実践介入によるチーム医療連携—プロトコルの策定を考慮して—

松尾 直樹（独立行政法人国立病院機構東広島医療センター）

○14-05 特定行為実践看護師による組織横断的活動～医師のタスクシフト・タスクシェアの推進と看護実践力の向上～

小幡 衣子（地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良西和医療センター）

○14-06 高度救命救急センターにおける特定行為実践の普及と増加に向けた取り組み～取り組みから得た成果と課題～

多田 雄貴（奈良県立医科大学附属病院）

「医療安全①」

座長：木村 千穂 (大阪市立総合医療センター)
高野 裕子 (和歌山県立医科大学附属病院)

-
- O15-01 A 病院 Rapid Response Team 活動の実態把握と傾向分析**
園田 拓也 (小倉記念病院)
- O15-02 RRS 活用の鍵は“経験年数”？
ー教育と現場のズレが引き起こす“ためらい”の正体ー**
森 玲奈 (川崎市立川崎病院 救命救急センター)
- O15-03 Rapid Response Team の人材育成のための
症例検討会実施について**
池澤 友朗 (社会医療法人近森会 近森病院)
- O15-04 RRS (院内迅速対応システム) 24 時間体制導入から 3 年間でみえた
課題～院内心停止の割合の変化～**
柚木 さよ (日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院)
- O15-05 A 病院のコードブルーの課題～ RRS 導入を目指して～**
和田 賢二 (大野記念病院)
- O15-06 CCOT 活動の分析からの課題**
糺谷 枝美 (京都第一赤十字病院)

「業務改善」

座長：吉野 暁子 (埼玉医科大学国際医療センター)
高橋 安里 (大阪府済生会吹田病院 看護部)

-
- O16-01 救急患者応需率向上に向けた A 病院の現状と課題**
石田恵充佳 (東京科学大学病院救命救急センター)
- O16-02 超急性期看護における看護記録テンプレート導入の試み**
池田 景子 (橋本市市民病院)
- O16-03 認定看護師による地域病院の業務改善への支援の取り組み**
武藤 博子 (公立大学法人福島県立医科大学附属病院)

- 16-04 外傷患者を対象とした入院処置の見える化と
コスト意識向上の取り組み
高橋みなみ（日本大学医学部附属板橋病院）
- 16-05 公的医療保険をもたない外国人患者の入院受け入れに関する
対応の現状と課題
山田 知世（東京科学大学病院救命救急センター）
- 16-06 培養採取手技に関する現状調査と教育
～発熱プロトコールの導入にむけて～
大道 陽子（社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院）

一般演題(口演17)

第5会場 11月7日(金) 15:30～16:30

「家族看護①」

座長：奥田 晃子（総合上飯田第一病院 救急外来）
船水 良太（札幌医科大学附属病院 HCU病棟）

-
- 17-01 自殺企図により蘇生後脳症となった患者家族への看護
～多職種と連携した介入により看取ることができた一例～
杉浦 夏樹（公益財団法人 筑波メディカルセンター 筑波メディカルセンター病院）
- 17-02 救急外来に心肺停止で搬送された患者家族への看護
中島弓里帆（社会医療法人 三栄会 ツカザキ病院）
- 17-03 薬物過剰摂取による心肺停止蘇生後の未成年患者の家族支援
博多 千晴（社会福祉法人 京都社会事業財団 京都桂病院）
- 17-04 救急初療室で実施する終末期患者家族への手形を用いた
看護実践の意味づけ
佐藤 奈津（東京慈恵会医科大学附属柏病院）
- 17-05 救急・集中治療領域での遺族ケアにおける看護師の役割に関する検討
佐藤 遥（日本医科大学多摩永山病院 救命救急センター）
- 17-06 突然の心肺停止で入院となった小児の看取りまでの
家族看護の振り返り
宮本由美子（久留米大学病院高度救命救急センター）

「看護管理」

座長：西谷内由美（西日本旅客鉄道株式会社 大阪鉄道病院）
 雀地 洋平（KKR 札幌医療センター 集中治療センター・救急外来）

- 18-01 救命救急センター外来に従事する新人看護師のストレスとその要因
 小室 勇人（埼玉医科大学国際医療センター）
- 18-02 救命救急センター看護師における心理的安全性の実態調査
 北村 舞（東邦大学医療センター大森病院 救命救急センター）
- 18-03 クリティカルケア領域における認定看護師の活動を推進する
 体制整備と実践的効果に関する検討
 松岡 遼平（地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩総合医療センター）
- 18-04 救急看護師長 1 年目の軌跡と認定看護師としての挑戦
 野村 典子（京都中部総合医療センター）
- 18-05 臓器提供における地域施設支援体制構築の一考察
 ー院内体制強化と継続的なシミュレーション効果の有用性ー
 仲本 雪美（地方独立行政法人 那覇市立病院）
- 18-06 勘と経験からの脱却
 ～時間別患者データに基づく救急外来の勤務配置見直しと効果検証～
 藤崎 隆志（小倉記念病院）

「救急外来看護③」

座長：佐藤亜紀江（寝屋川生野病院 集中治療室）
 木村 禎（学校法人藤天使学園 天使大学 看護栄養学部看護学科）

- 19-01 ハイブリッド ER システム（HERS）における看護師の役割
 築地 早希（福岡東医療センター）
- 19-02 救急外来での電話相談が招く看護師のストレスの現状
 齋藤さゆり（公立置賜総合病院 救命救急センター救急外来）
- 19-03 ICH バンドルの現場定着と教育的課題の分析
 ー多職種アンケートによる脳卒中スクランブル対応との比較検討
 早川歩乃佳（一般財団法人平成紫川会小倉記念病院 救急室）

- 19-04 救急看護師が関与する ICH バンドル項目の遵守率と予後の関連：導入前後の比較分析**
小田 彩乃（小倉記念病院）
- 19-05 救命救急センターにおける持込み褥瘡患者の現状と今後の課題**
工藤 章能（埼玉医科大学総合医療センター救命救急センター）
- 19-06 重症外傷患者に対するダメージコントロール手術における救急看護師の知識と実践のギャップに関する調査**
細谷 誠史（日本医科大学千葉北総病院）

一般演題(口演20)

第5会場 11月7日(金) 16:40～17:40

「医療安全②」

座長：平山 幸枝（帝京大学医学部附属病院 高度救命救急センター）
矢野 明美（市立室蘭総合病院 看護管理室）

-
- 20-01 A 病院救命救急センターにおける急変事例の分析－早期警戒スコア (NEWS) を使用して－**
松田 樹（旭川医科大学病院救命救急センター）
- 20-02 救急外来から一般病棟に入院した患者における、救急外来での NEWS と入院後の状態悪化との関連**
栗野未菜子（山形県立中央病院）
- 20-03 何らかの懸念を運用しての院内心停止の低減に向けて**
兼久 大輔（医療法人徳洲会 中部徳洲会病院 ICU）
- 20-04 小児心肺停止患者受け入れ準備のためのアクションカードの開発：危機的状況に対処するための認知支援ツール**
青木 悠（聖路加国際病院 救命救急センター / 聖路加国際病院 小児総合医療センター）
- 20-05 大量輸血プロトコル導入後に救命できた産科危機的出血の1例**
江島 由紀（福岡和白病院）
- 20-06 遠隔 ICU 看護師のモニタリング観察における成長過程の視線解析の検討**
住永 有梨（昭和医科大学）

「家族看護②」

座長：石川 景子 (東京医科大学茨城医療センター)
神 由里 (京都大学/京都大学医学部附属病院)

- O21-01 A 病院救急外来受診患者の家族が病状説明を受けるまでに抱く心情
石橋こはる (東邦大学医療センター佐倉病院)
- O21-02 救急搬送された患者の代理意思決定を行った家族の体験に関する研究
鵜川真由美 (香川大学医学部附属病院)
- O21-03 Medical Emergency Team における
入院時重症患者対応メディエーターの導入と実践報告
井上 千穂 (川崎医科大学附属病院)
- O21-04 ICU 入院中の成人患者の家族におけるストレスとコーピング：スコア
ピングレビュー
下村 祐哉 (東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 看護先進科学専攻 災害・
クリティカルケア看護学分野)
- O21-05 患者家族のコーピングに焦点をあてた関わり
日下 悠子 (仙台医療センター)
- O21-06 面会制限下における重症患者家族のニーズの充足度と
看護師による家族ニーズへの対応状況
中川 裕一 (札幌医科大学附属病院高度救命救急センター)

「地域連携」

座長：泉谷 勇 (市立釧路総合病院 看護部 救急外来)
吉峯 由香 (川崎医科大学附属病院 循環器呼吸器センター)

- O22-01 救急患者連携搬送（下り搬送）システムの構築
～地域で高齢者救急を応需するための第1歩～
松尾 弓 (福岡徳洲会病院 救急外来 ECU)
- O22-02 A 病院における救急患者連携搬送の現状と今後の課題
中畔 柚季 (日本赤十字社和歌山医療センター)
- O22-03 救急対応強化策によるプレホスピタルとの連携強化
稗田 貴純 (赤心堂病院 救急外来)

**O22-04 救急看護師による養護教諭研修会の実践とその効果
～応急対応と事例共有～**
高井 純太（中東遠総合医療センター）

O22-05 救急外来における帰宅時支援導入後 1 年間の実績と課題
山口 雅美（佐賀県医療センター好生館 救命救急センター）

O22-06 ICT を活用した心不全患者の在宅支援
内海由加里（国家公務員共済組合連合会 高松病院）

一般演題(口演23)

第4会場 11月8日(土)9:40～10:40

「救急外来看護④」

座長：溝江亜紀子（東京科学大学病院）
國分 秀人（草加市立病院）

O23-01 救急外来の診療時間外の受診前相談と受診方法に関する認知度調査
辰巳恵美子（地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター）

O23-02 A 病院救命救急センターに救急搬送された患者家族の満足度調査
友枝 由依（東海大学医学部付属病院 高度救命救急センター）

**O23-03 救急初療室における疾患・重症度別の疼痛値の傾向と
鎮痛薬使用の実態に関する横断研究**
松本 大地（戸畑共立病院）

O23-04 急性心筋梗塞患者の発症から救急初療までの体験
小嶋万里奈（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

O23-05 救急外来看護師の学習機会増加に向けた取り組みと今後の課題
宮本 浩明（長崎大学病院高度救命救急センター）

**O23-06 救急室における特定看護師の役割
～救急患者の末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入の意義～**
森川 玲子（医仁会武田総合病院）

「重症患者看護②」

座長： 斉藤 徳子 (日本医科大学付属病院 高度救命救急センター)
白石 朋子 (札幌医科大学付属病院 高度救命救急センター HCU 病棟)

-
- O24-01 awake ECMO 患者の呼吸機能改善を目的とした
リハビリテーションへの看護介入
高橋 彩絵 (千葉県総合救急災害医療センター)
- O24-02 A 病院集中治療室における早期リハビリテーションの現状と課題
馬渡 美里 (佐賀大学医学部附属病院)
- O24-03 リハビリテーションに消極的な患者への意欲向上に向けた関わり
小野寺そら (仙台医療センター)
- O24-04 救急看護において、入院前の生活を取り入れ
離床時間増加を目指した 1 事例
佐藤 沙弥 (仙台医療センター)
- O24-05 高位頸髄損傷患者における搬入時の足底反射と機能回復との
関連性の検討
荒巻 勝人 (埼玉医科大学総合医療センター)
- O24-06 救命救急病棟における患者ケアカンファレンスの活性化に向けた
取り組み
伊豫田菜月 (公立陶生病院救命救急センター)

「救急外来看護⑤」

座長： 村山 浩之 (さいたま市立病院)
黒崎 祐也 (長岡赤十字病院 救命救急センター)

-
- O25-01 救急外来で帰宅支援の標準化を図るための取り組み
松岡 結 (獨協医科大学日光医療センター)
- O25-02 救急外来受診後に帰宅する患者への看護師の療養支援の現状と課題
具志 陽宏 (県立広島大学総合学術研究科)
- O25-03 二次救急外来における帰宅患者や家族に対する
救急看護認定看護師の在宅療養支援
清水 寛子 (鳥取県立中央病院)

- O25-04 救急外来における帰宅支援方法確立に向けた取り組み～第二報～**
中川由紀乃（福岡赤十字病院）
- O25-05 A 病院救命救急外来における帰宅時支援のシステム化とその成果**
岩永 友紀（済生会熊本病院救命救急外来）
- O25-06 救急外来を受診した患者への帰宅支援フローチャートの導入による効果と課題**
青山 楓（社会医療法人 仙養会 北摂総合病院）

一般演題(口演26)

第6会場 11月8日(土)10:50～11:50

「看護教育③」

座長：樺山 定美（獨協医科大学）
大田 麻美（伊勢赤十字病院 看護部）

- O26-01 ICU における救急初療室経験のある看護師と ICU 経験が豊富な看護師の臨床判断の特徴**
岡崎 楓（社会医療法人 愛仁会 高槻病院）
- O26-02 A 病院救命病棟スタッフに対する 2 ヶ月研修プログラムが臨床推論能力に与える影響：NCRS を用いた評価**
佐藤 希（旭川医科大学病院救命救急センター）
- O26-03 クリティカルケア領域看護師の思考が看護実践能力に及ぼす影響**
草場 裕（佐賀大学医学部附属病院高度救命救急センター）
- O26-04 NPPV 装着患者の看護に関する一般病棟での CCNS の教育的関わり～コンサルテーションを通じて～**
小野 孝夫（日本鋼管病院）
- O26-05 救急外来看護師の OJT 指導者に必要なコンピテンシーに関する質的分析**
藤崎 隆志（小倉記念病院）
- O26-06 A 病院 HCU 看護師の OJT の現状**
清田美千代（社会医療法人三栄会ツカザキ病院）

「救急外来看護⑥」

座長：山口 弘子 (名古屋掖済会病院 看護部)
高田 久美 (福岡県済生会福岡総合病院)

O27-01 ハイブリッド ER における多職種シミュレーションチームの活動とその評価

芳賀 信孝 (東北大学病院 看護部 高度救命救急センター)

**O27-02 療養支援における救急外来と各科外来との看護連携の実際と課題
ー外来連携カンファレンスの実践報告ー**

北本 千春 (社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷浜松病院)

**O27-03 救急初療室における熟練看護師の臨床判断
ー実践の省察を分析するー**

金浜 英介 (医療法人 湊仁会 手稲湊仁会病院)

**O27-04 初療室でのベッドコントロールにおける救急外来看護師の臨床判断に
影響する要因**

久 宣実 (徳島赤十字病院救急外来)

O27-05 二次救急医療領域における 65 歳以上のフレイル予備群因子の調査

佐藤 美奈 (市立ひらかた病院 HCU)

O27-06 救急外来における高齢者の療養支援の現状

香取 雅美 (聖路加国際病院救命救急センター)

「チーム医療④」

座長：清末 定美 (社会保険大牟田天領病院)
中川 雄樹 (札幌医科大学附属病院 看護部 HCU病棟)

**O28-01 超緊急帝王切開術における ER 対応システムの構築を目指して
～ ER 看護師の認知度向上への取り組み～**

鍵山 香織 (福岡徳洲会病院)

**O28-02 担当看護師に求められるチーム医療における役割
～重症妊産婦への看護実践を振り返って～**

遠藤 双葉 (順天堂大学医学部付属静岡病院)

O28-03 ハイブリッド ER シミュレーションの実際と今後の課題

宮田 佳之（長崎大学病院 高度救命救急センター）

O28-04 身体抑制低減に向けた多職種連携による取り組み

岩見 華子（藤田医科大学病院高度救命救急センター）

O28-05 脳神経外科患者の多職種事例検討会の効果についての検討

近藤 穂堯（聖路加国際病院 救命救急センター 救急外来）

O28-06 ICU での効果的な多職種カンファレンス実施に向けた看護師の役割と課題

青柳 海里（水戸協同病院）

一般演題(口演29)

第4会場 11月8日(土) 14:30～15:30

「看護教育④」

座長：多久和善子（昭和医科大学認定看護師教育センター）

松本 蘭（札幌市病院局 市立札幌病院 4 階東病棟 CCU・PCCU）

O29-01 救急外来において実践した救急トレーニングの実際～スタッフの技術向上、統一に向けた取り組み～

海老根桃香（三井記念病院 救急外来）

O29-02 院内講習とチームダイナミクスを活用したシナリオ型急変初期対応トレーニングの実践と評価

飯島 雄希（医療法人社団筑波記念会筑波記念病院）

O29-03 病棟看護師の急変対応の質の向上を目的とした ICLS 学習会の実施

鈴木 花菜（株式会社日立製作所日立総合病院）

O29-04 看護学生の救命スキルと主体性を育む心肺蘇生サークル活動の教育的効果

嘉陽 宗司（医療法人おもと会 大浜第一病院）

O29-05 小児病棟看護師の急変対応の体験～急変対応シミュレーションにおける課題の検討～

東岡 南帆（あいち小児保健医療総合センター）

O29-06 JICA 草の根事業におけるカンボジア救急医療支援事業での活動報告

三橋 乙矢（岡山大学病院 入院棟西 3 階 EICU）

「医療安全③」

座長：古地 敬利 (社会医療法人石川記念会 HITO 病院 ER・HCU)
寺地沙緒里 (東海大学 看護師キャリア支援センター)

O30-01 院内急変対応の現状把握と今後の課題

五十嵐佑也 (福島県立医科大学附属病院 災害医療・高度救命救急センター ICU/CCU)

O30-02 院内急変に関する意識調査からみた当院の傾向
～全職員を対象としたアンケート調査結果より～

小原 環 (国家公務員共済組合連合会 斗南病院)

O30-03 心停止の認識から胸骨圧迫開始までの時間短縮に向けた活動の
実践報告

川上 大輔 (北里大学病院 看護部)

O30-04 質問紙調査から見たスタットコール初期対応の課題

本庄 智代 (東京科学大学病院)

O30-05 救命救急災害医療センター EICU における急変対応に関する現状と
課題～急変振り返りシートからの考察～

中山 和希 (北里大学病院 救命救急・災害医療センター EICU)

O30-06 演題取下げ

「重症患者看護③」

座長：新山 紗千 (札幌医科大学附属病院 EICU病棟)
徳山 博美 (関西医科大学附属病院 高度救命救急センター)

O31-01 人工呼吸管理中の呼吸変化に対応する
看護師のアセスメント過程の実態

田戸 朝美 (山口大学)

O31-02 演題取下げ

O31-03 開心術後心肺蘇生プロトコル導入を目指した取り組み

江島 由紀 (福岡和白病院)

O31-04 気管カニューレ挿入困難で経口挿管チューブを安全に代用できた
事例に対しての固定法の検討

土谷明佳音 (新潟市民病院)

**O31-05 救急ICUに入室した気管挿管患者における
口腔環境の変化と全身状態・VAP発症との関連**
佐藤 央（東京科学大学大学院 災害・クリティカルケア看護学分野）

**O31-06 共同意思決定を通してV-A ECMO装着を要した
肺癌患者の意思を尊重した治療を展開できた事例**
安食 雄太（福島県立医科大学附属病院）

一般演題(口演32)

第5会場 11月8日(土) 15:30～16:30

「チーム医療⑤」

座長：小川 謙（JCHO北海道病院）
岩本 満美（北海道大学病院 HCUナースセンター）

O32-01 「患者様を迎える会」から考える救命の連鎖のあり方
植木健太郎（順天堂大学医学部附属静岡病院救命救急センター）

**O32-02 救急病棟から一般病棟へ繋ぐACP
～シームレスな連携を目指して～**
中村真美子（公立陶生病院救命救急センター）

**O32-03 壊死性軟部組織感染症により長期入院した若年患者への精神的支援と
多職種による関わり**
永野のぞみ（札幌医科大学附属病院 高度救命救急センターHCU 病棟）

O32-04 多者同時通話デバイスを活用したDrカー活動における有効性
木村 夕貴（社会法人 生長会 ペルランド総合病院 ER）

O32-05 プレホスピタルケアを意識した多職種チーム医療の実践研修報告
山口 高巧（宇治徳洲会病院高度救命救急センター 救急看護認定看護師）

O32-06 母国の病院へ転院する訪日外国人への関わり
北岡 史（大阪けいさつ病院）

一般演題(口演33)

第4会場 11月8日(土) 15:40～16:30

「災害看護②」

座長：木野 毅彦（日本医科大学付属病院 SICU）
武政 輝希（千葉県総合救急災害医療センター、ER/ECU）

**O33-01 二次救急医療機関における救急外来スタッフの災害時教育と
不安軽減を目的としたシミュレーションの実践**
池宮城聖弥（地方独立行政法人 那覇市立病院）

- O33-02 災害拠点病院である当院にて全看護師職員に対して
一次トリアージ法の教育を行った結果について**
中井 祐樹 (名張市立病院 看護部)
- O33-03 思考 0 秒トリアージなしで命を助ける災害対策**
鈴木香綺音 (名古屋掖済会病院)
- O33-04 地域中核災害拠点病院における看護職員に向けた
防災意識変革への取り組み**
松井 智子 (一宮市立市民病院)
- O33-05 看護学生が防災訓練で得られる学習効果に関する研究**
和田 悠矢 (北海道科学大学)

一般演題(口演34)

第6会場 11月8日(土) 15:40~16:30

「終末期看護 (エンドオブライフケア)」

座長：村中 沙織 (天使大学 看護栄養学部 看護学科)
本田 智治 (長崎大学病院 高度救命救急センター)

-
- O34-01 救急外来における終末期がん患者とその家族の残された時間の
過ごし方に関する意思決定プロセスの考察**
兼元 翔也 (市立福知山市民病院)
- O34-02 集中治療室に入室した維持透析患者の終末期における
意思決定支援の実態**
西村あおい (京都第一赤十字病院)
- O34-03 「家に帰りたい」に応える救急看護
ー挿管後に本人意思を反映した退院支援の実践報告ー**
池田 優 (地方独立行政法人長崎みなとメディカルセンター)
- O34-04 脳死下臓器提供を選択した家族を支える看護
ークリティカルケア領域の看護師の語りからー**
塚田 芳 (東海大学医学部付属病院 高度救命救急センター)
- O34-05 救急搬送同日に訪問診療を導入し在宅看取りへと繋がられた一例
：継続支援に向けた看護実践についての一考察**
岡村 紀子 (勤医協中央病院救急センター)

「救急救命士②」

座長：伊藤 和恵（医療法人 辰星会 枳記念病院）
神谷 弥生（知多半島総合医療センター）

-
- O35-01 ER 看護師のタスク・シフト / シェアの推進に向けた院内救命士の活用**
米嶋 美晴（総合病院 土浦協同病院 看護部）
- O35-02 病院内での救急救命士活用に伴うタスクシフトの現状と課題：看護師視点からの検討**
鎚木 優希（筑波記念病院 看護部）
- O35-03 病院救急救命士へのタスクシフト / シェアで得られた実績と課題より必要な教育体制を構築する**
床尾 羊翼（社会医療法人仙養会北摂総合病院）
- O35-04 診療報酬改定に伴う院内救命士の新たなタスク・シフト / シェアの成果～救命士による転院搬送業務の拡充～**
友田 新二（社会医療法人生長会 ベルランド総合病院）
- O35-05 救急看護師から病院救急救命士へのタスク・シフト / シェア 病院へ救急救命士を雇用して**
石田 智彦（医療法人 辰星会 枳記念病院）

「医療安全」

座長：加藤 桂（吉田学園医療歯科専門学校）

- DP1-01 コードブルーの初期対応に関する実態調査
東畑 恵美（社会福祉法人恩賜財団 済生会中和病院）
- DP1-02 RRS 起動アクションカードの活用状況調査と今後の課題
細谷 晴加（伊勢赤十字病院）
- DP1-03 A 病院における院内迅速対応システムに対する一般病棟看護師の認知
柴田 雅仁（東京都立広尾病院）
- DP1-04 Critical Care Outreach Team(CCOT) 導入後 6 ヶ月の評価と今後の課題
磯部 雄一（独立行政法人国立病院機構九州医療センター）
- DP1-05 当院における RRS の活動実績からみた起動件数の少なさの要因
井上 正芳（市立青梅総合医療センター）

「看護教育」

座長：牧野 夏子（札幌市立大学）

- DP2-01 A 病院における救急外来看護師を対象にした緊急内視鏡検査介助の今後の教育と課題
安達 秀仁（埼玉石心会病院ER総合診療センター）
- DP2-02 「Airway VR を用いた卒後 2 年目看護師への教育」～第 1 報～
林 智美（福井大学医学部附属病院 看護部）
- DP2-03 Airway VR を用いた卒後 2 年目看護師へ教育～第 2 報～
大嶋 理恵（福井大学医学部附属病院 看護部）
- DP2-04 メディカルラリーを模したシミュレーション研修の実施～キャリアラダー研修として～
田中 総子（独立行政法人 労働者健康安全機構 九州労災病院 外来）
- DP2-05 看護補助者への急変時対応に関する意識調査
横井よしみ（横田記念病院）

「チーム医療」

座長：日置 真弓（和歌山県立医科大学附属病院 ICU）

- DP3-01 A 病院救命救急センターにおける多職種連携により、
嚥下障害を有する高齢患者が早期経口摂取再開を得た一例
中川 雄樹（札幌医科大学附属病院 看護部）
- DP3-02 多職種連携推進による当院の救急室患者滞在時間短縮への取り組み
小林 次美（順天堂大学医学部附属練馬病院）
- DP3-03 救急外来における特定看護師の取り組み
～医師のタスクシフト・シェアに貢献できた一例～
明石かえで（山梨大学医学部附属病院 救急外来）
- DP3-04 入院患者の VS データを用いた RRS 起動基準を作成する
システムの考案
河合 豊（春日井市民病院）
- DP3-05 RRT 活動の実際～ RRS の普及と急変の早期認知を目指して～
斉藤 大介（国立病院機構北海道医療センター）
- DP3-06 Rapid Response Team ラウンドの現状と今後の課題
井上 貴恵（春日井市民病院）

「救急外来看護」

座長：石ヶ森重之（日本医科大学多摩永山病院）

- DP4-01 当院初療室での神経蘇生に関する現状と課題
－開頭術前の初期治療に関する看護・看護体制の課題－
吉野 暁子（埼玉医科大学国際医療センター）
- DP4-02 初療のリーダー確立を目指して
－業務整理前後のアンケート調査から－
馬原 恵美（日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院）
- DP4-03 二次救急における早期発症の脳卒中疑い患者の対応
～時間短縮を目的としたフローチャートの導入～
加藤愛一郎（竹田総合病院救急室）

**DP4-04 「疼痛見える化する」疼痛評価スコアを使った
ER 看護師の意識改革**

高木 美紀 (市立 大津市民病院)

DP4-05 演題取下げ

DP4-06 救急外来で自己来院患者に対しての自己記入式問診票を使用した効果

石川 麻由 (社会医療法人神鋼記念会 神鋼記念病院)

一般演題(デジタルポスター5)

第9会場 11月8日(土) 13:20～14:10

「重症患者・家族看護」

座長：井川 由貴 (山梨県立大学 看護学部)

**DP5-01 急性大動脈解離で手術や入院を拒否した患者への意思決定支援と
退院支援の介入により自宅退院した事例**

中村 公彦 (札幌東徳洲会病院)

**DP5-02 高度救命救急センターにて小児チームが連携し
重症小児患者の母親の危機を回避できた一例**

浜田 喜恵 (川崎医科大学附属病院 高度救命救急センター)

DP5-03 集中治療領域における医療者の終末期の認識に関する文献研究

阿部 勇人 (KKR札幌医療センター / 北海道科学大学 保健医療学研究科 看護学専攻)

**DP5-04 循環器専門病院の救急車来院患者の
末梢静脈挿入式中心静脈カテーテル留置の現状と課題**

小中野和也 (医療法人名古屋澄心会 名古屋ハートセンター)

DP5-05 在宅救急看護における超音波評価導入の試みと展望

斉藤 岳史 (医療法人 AGRIE 経営企画室)

一般演題(デジタルポスター6)

第9会場 11月8日(土) 14:30～15:20

「訓練・教育」

座長：船木 淳 (名古屋市立大学大学院看護学研究科 クリティカルケア看護学分野)

DP6-01 5年ぶりの大規模災害訓練実施の評価

難波さおり (市立池田病院)

DP6-02 MCI を想定したシミュレーション訓練での成果と課題

大和 美幸 (札幌医科大学附属病院 高度救命救急センター)

- DP6-03 看護師主体のシミュレーション教育が ECPR 導入時間に与える影響**
佐藤 美咲（愛知医科大学病院）
- DP6-04 シミュレーションを用いた心臓手術後患者の心肺蘇生の質評価
～ CALS 導入前の現状～**
新山 和也（埼玉医科大学国際医療センター）
- DP6-05 A 病院における心電図セミナー開催を通しての実践報告**
土井 啓司（公的財団法人健和会 健和会大手町病院 救急外来・病棟）

一般演題(示説1)

示説会場 11月7日(金)10:30～11:10

「チーム医療」

座長：園田 拓也（小倉記念病院 クオリティマネジメント課）
三浦 友紀（江別市立病院 整形外科小児科混合病棟）

- P1-01 タスク・シフト / シェアを見据えた救急看護師の役割に関する研究**
南 真吾（神鋼記念病院）
- P1-02 院内救命士と看護師のタスクシェアの現状と課題**
山下 由美（社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 救急集中治療センター）
- P1-03 A 病院一般病棟における予期せぬ心停止の回避を目指した
呼吸評価の定着に向けたタスクの考察**
田中 嘉与（市立福知山市民病院）
- P1-04 救急外来における多職種協働に関する促進要因と阻害要因の分析**
村山さやか（医療法人 青仁会 池田病院 看護部）

一般演題(示説2)

示説会場 11月7日(金)11:20～12:00

「ACP」

座長：尾崎 美聡（独立行政法人国立病院機構北海道医療センター 救命救急センター）
新 力ヨ（京都第二赤十字病院 看護部）

- P2-01 緩和的抜管を検討した終末期症例における看護師のかかわり
～家族支援と倫理的意思決定支援を通して～**
鈴木 彩花（福島県立医科大学附属病院 災害医療・高度救命救急センター HCU/ 外来）
- P2-02 ACP が定まる前に自宅で急変し救急外来へ搬送された
患者家族への対応**
杉 美紀（京都府立医科大学附属病院）

- P2-03 電子患者情報アウトカムを使用した
Advanced Care Planningの継続介入に向けた課題**
有坂 美緒（北里大学病院 看護部）
- P2-04 入院時 ACP 聞き取り用紙導入後の効果について**
齊藤由利子（山形県立中央病院）

一般演題(示説3)

示説会場 11月7日(金) 14:20～15:20

「救急外来看護①」

座長：高野 千佳（岩手県立中央病院・救命救急センター）
細井 麻美（旭川赤十字病院 ICU・CCU）

-
- P3-01 A 病院における救急外来受診患者の滞在時間の実態調査
～滞在時間の短縮に向けて～**
磯崎 柁瑠（日本医科大学付属病院）
- P3-02 救急医療センターにおける入院患者滞在時間短縮への取り組み**
森 まどか（清恵会病院）
- P3-03 A病院救急外来における重症患者受け入れ時の
看護師役割分担導入後の現状調査と今後の課題**
廣瀬 由紀（船橋市立医療センター）
- P3-04 救急外来における看護師のペアリング制導入前後の協同作業に
着目した意識の変化**
大西 弥生（公益財団法人 甲南会 甲南医療センター）
- P3-05 チップ投票型患者アンケートの是非と行動変化を認めた看護師に
着目した考察**
川原 夏奈（国民健康保険 小松市民病院 HCU）
- P3-06 A 病院救急センターにおける職員満足度調査と
看護師離職に関する関連要因探索**
渡邊 一也（公益財団法人 宮城厚生協会 坂総合病院 看護部）

「重症患者・家族看護」

座長：恩部 陽弥（鳥取大学医学部附属病院）
 藤川 千穂（札幌医科大学附属病院 EICU病棟）

-
- P4-01 人工心肺を使用した心臓血管外科術後患者の早期離床の体験
 玉見 美穂（社会医療法人敬和会大分岡病院）
- P4-02 難治性 VF に対して円滑に ECPR を行った 1 症例
 玉城 孝人（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 救命救急センター）
- P4-03 救急搬送された妊産婦に関する看護研究の動向
 寺本 望杏（京都橘大学看護学部看護学科）
- P4-04 救急搬送された患者家族への対応の実態と今後の課題
 山内 ふみ（上尾中央総合病院）
- P4-05 予期せぬ死別を経験した家族に対する看護実践について
 ～救命救急センターでの関わりから～
 大野 千花（JA北海道厚生連帯広厚生病院）

「プレホスピタルケア」

座長：表 佳代（日本赤十字社和歌山医療センター）
 岩崎 翼（知多半島総合医療センター）

-
- P5-01 双方向映像配信システムを活用したドクターカー運用の実践報告
 ～多種職連携を通じた救急対応力の向上～
 島袋 美好（友愛医療センター）
- P5-02 「聞く」から「見える」へ
 ～NSER mobile 導入による救急隊との情報連携と看護実践の変化～
 宮城 春彦（友愛医療センター）
- P5-03 Dr カー・スマートグラスの導入と効果検証
 ～現場から院内へリアルタイム映像による迅速な意思決定支援～
 稲嶺 盛克（友愛医療センター）
- P5-04 ドクターカー看護師によるプレホスピタル活動における
 テキストマイニングを用いたドクターカー記録の実態
 鈴木 琢真（群馬大学医学部附属病院 救命救急センター）

- P5-05 藤田医科大学病院のドクターカー活動について
～診療看護師(NP)の役割～
加藤 夏美 (藤田医科大学病院 FNP室 / 救急総合内科)
- P5-06 医療施設外における看護師が認識するファーストエイド場面と看護活動の特徴 ―全体像モデルを用いた分析―
河合 正成 (日本救急看護学会ファーストエイド委員会 / 岐阜県立看護大学)

一般演題(示説6)

示説会場 11月8日(土)9:40～10:40

「看護教育①」

座長： 背戸 陽子 (日本医科大学付属病院 看護部)
眞鍋万里子 (旭川医科大学病院 救命救急センターナースステーション)

-
- P6-01 NIHSS 評価スキル向上のために VR を活用した学習方法の有用性
森下 悠太 (神戸大学医学部附属病院看護部)
- P6-02 脳血栓回収療法における VR を用いたシミュレーション教育の学習効果
野村 宜伸 (兵庫県立西宮病院)
- P6-03 一般病棟における呼吸数測定に焦点を置いた RRS 学習会前後の変化
齊藤 大空 (山梨県立中央病院 看護部)
- P6-04 地域医療支援病院の救急看護認定看護師としての取り組み
～地域医療施設への研修 ARCS モデルを活用して～
鷲野 勝子 (日野市立病院 看護部)
- P6-05 視聴覚教材を用いた反復学習による知識の獲得と維持への取り組み
桑原 建 (公立陶生病院)
- P6-06 救急看護師を対象とした重症外傷患者の看護に関する学習ニード
牧野 夏子 (札幌市立大学看護学部)

「医療安全」

座長：島 美貴子 (市立砺波総合病院 看護部)
 庄野亜矢子 (聖カタリナ大学 看護学部)

-
- P7-01 A 病院の院内迅速対応システム導入初年度における
起動件数確保のための取り組み**
 内山 裕斗 (独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター)
- P7-02 A 病院の Rapid Response System 導入後の現状と課題**
 渋谷 和広 (川口市立医療センター)
- P7-03 院内迅速対応システム活動中のコードブルー急増要因への考察**
 平川あゆみ (今村総合病院)
- P7-04 看護師の呼吸数観察を困難にしている要因は何か？**
 宮脇 奈央 (国家公務員共済組合連合会 新別府病院 / 大分県立看護科学大学大学院
 看護研究科博士課程(前期)看護学専攻 実践者養成 NP コース)
- P7-05 A 病院 ER 看護師の児童虐待に対する認識調査**
 竹内 杏奈 (公立陶生病院救命救急センター)
- P7-06 A 病院初の脳死下臓器提供の振り返り**
 中里さかえ (福岡赤十字病院)

「トリアージ」

座長：鈴木 幹子 (札幌心臓血管クリニック)
 太田 文子 (旭川赤十字病院 HCU・救急外来)

-
- P8-01 トリアージ検証者のストレスについて
ー役割や能力に関するストレスー内容ー**
 白方 春美 (地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立広島市民病院救急外来)
- P8-02 救急外来看護師による電話相談の実態調査
ー電話対応記録を用いた後方視的分析ー**
 町中果実子 (手稲溪仁会病院救命救急センター)
- P8-03 院内トリアージの現状と課題**
 五十嵐弘明 (埼玉医科大学病院 救急センター)

P8-04 看護師による救急外来における救急電話相談トリアージの実態と教育的ニーズ調査（第一報）

今井 亮（文京学院大学）

P8-05 看護師による救急外来における救急電話相談トリアージの実態と教育的ニーズ調査（第二報）

宮崎 博之（福島県立医科大学附属病院）

一般演題(示説9)

示説会場 11月8日(土) 14:30～15:20

「救急外来看護②」

座長：川崎 沙羅（杏林大学医学部附属病院高度救命救急センター）

前田 晃史（千里金蘭大学 看護学部）

P9-01 救急外来における社会支援介入スクリーニングシートの活用状況と運用課題の分析

宮崎 隆寛（鶴岡市立荘内病院）

P9-02 二次救急病院における救急搬送された高齢者頭部外傷の特徴と今後の看護介入の検討

倉持 幸代（横浜新緑総合病院 救急外来）

P9-03 高齢者の特性を踏まえた救急外来における新しい看護方法に関する臨床上の課題

田場 由紀（沖縄県立看護大学）

P9-04 新潟県 A 医療圏における高齢者救急の実態調査

八島 公男（済生会新潟県基幹病院）

P9-05 A 医療圏における高齢者救急の入院後の実態調査～医療再編により地域を一つの病院として～

小島 圭太（済生会新潟県中央基幹病院 4B(ER/HCU) 病棟）

一般演題(示説10)

示説会場 11月8日(土) 15:40～16:20

「看護教育②」

座長：五十嵐佳奈（京都第一赤十字病院 救命救急センター ICU）

石崎 清華（東海大学医学部附属病院 救命救急センター）

P10-01 地方病院での災害医療に関する教育プログラムの有用性と今後の課題－地域による受講者の特性を踏まえて－

佐々木祐輔（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院）

- P10-02 災害未経験地域における看護師の不安と教育的支援の課題**
加藤 清美（順天堂大学医学部附属静岡病院）
- P10-03 A 病院救急救命センターにおける災害教育システム構築への取り組み
～赤エリアの立ち上げまで～**
與儀 梓（沖縄県立南部医療センター）
- P10-04 二次救急医療機関において体外循環式心肺蘇生への取り組み
～管球下での機械的心肺蘇生の有用性について～**
迫田 瑛菜（耳原総合病院）

MEMO

協賛企業・団体一覧

■ 共催セミナー

ニプロ株式会社
日本ストライカー株式会社
パラマウントベッド株式会社

■ 企業展示

アルケア株式会社
アンブ株式会社
一般社団法人遺伝性血管性浮腫診断
コンソーシアム
エア・ウォーター・メディカル株式会社
株式会社 Gakken
クロープライフジャパン
株式会社高研
コニカミノルタ ジャパン株式会社
コンバテック ジャパン株式会社
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス
株式会社
ナスコ・ヘルスケア (Nasco Healthcare)
ニプロ株式会社
日本ストライカー株式会社
株式会社バイオデザイン
パラマウントベッド株式会社
株式会社ビットエイジ
株式会社ヒュー・メックス
ヒルロムジャパン株式会社
フクダコーリン株式会社
株式会社ベルリング
株式会社ムラカミ
株式会社北海道モリタ
メドライン・ジャパン合同会社

株式会社メルシー
株式会社ヤマト
吉田製薬株式会社
レールダルメディカルジャパン株式会社

■ 書籍展示

株式会社紀伊國屋書店札幌本店

■ 広告（バナー）

合同会社 MLコンサルティング
株式会社 Gakken
株式会社学研メディカルサポート
株式会社共立メンテナンス
株式会社コードブルー
株式会社竹山
フクダ電子北海道販売株式会社
学校法人吉田学園 / 専門学校総合事務局

■ 広告（幕間スライド）

旭化成ゾールメディカル株式会社
ヴェクソンインターナショナル株式会社
カーディナルヘルス株式会社
株式会社コードブルー
パラマウントベッド株式会社

■ 寄付

中日本航空株式会社
一般財団法人 慎心会 記念財団
(五十音順)

第 27 回日本救急看護学会学術集会の開催にあたり、上記の企業・団体様から多大なるご支援とご協力をいただきました。ここに深く感謝致します。

2025 年 9 月 30 日現在
第 27 回日本救急看護学会学術集会
会長 三上 剛人

企画実行委員名簿

■会長

三上 剛人 (吉田学園医療歯科専門学校)

■事務局長

石川 幸司 (北海道科学大学)

■企画運営委員長

田口裕紀子 (札幌医科大学)

■企画運営委員

小川 謙 (JCHO 北海道病院)

神田 直樹 (北海道医療大学)

斉藤 大介 (国立病院機構
北海道医療センター)

源本 尚美 (市立札幌病院)

■企画委員

泉谷 勇 (市立釧路総合病院)

岩本 満美 (北海道大学病院)

河瀬 亨哉 (市立函館病院)

川端 和美 (北海道大学病院)

桑村 直樹 (医療法人溪仁会
手稲溪仁会病院)

佐藤 実李 (札幌医科大学附属病院)

雀地 洋平 (KKR 札幌医療センター)

中川 雄樹 (札幌医科大学附属病院)

眞鍋万里子 (旭川医科大学病院)

三上 育子 (市立釧路総合病院)

大和 美幸 (札幌医科大学附属病院)

■事務局員

福島 綾子 (北海道科学大学)

■実行委員

石井 優子 (札幌医科大学附属病院)

泉谷 勇 (市立釧路総合病院)

岩本 満美 (北海道大学病院)

岡村 紀子 (勤医協中央病院)

岡本 真実 (札幌医科大学附属病院)

尾崎 美聡 (国立病院機構
北海道医療センター)

葛西 陽子 (手稲溪仁会病院)

笠谷亜沙子 (函館五稜郭病院)

金濱 英介 (手稲溪仁会病院)

河瀬 亨哉 (市立函館病院)

木村 禎 (学校法人藤天使学園天使大学)

桑村 直樹 (手稲溪仁会病院)

小原 環 (国家公務員共済組合
連合会 斗南病院)

佐藤 実李 (札幌医科大学附属病院)

白石 朋子 (札幌医科大学附属病院)

鈴木 幹子 (札幌心臓血管クリニック)

雀地 洋平 (KKR札幌医療センター)

津川久仁江 (名寄市立総合病院)

中川 裕一 (札幌医科大学附属病院)

中川 雄樹 (札幌医科大学附属病院)

中村 公彦 (札幌東徳洲会病院)

新山 紗千 (札幌医科大学附属病院)

西尾 友子 (旭川赤十字病院)

新田 直巳 (市立札幌病院)

橋本 直弥 (北海道科学大学)

福島 綾子 (北海道科学大学)

藤川 千穂 (札幌医科大学附属病院)

船水 良太 (札幌医科大学附属病院)

細井 麻美 (旭川赤十字病院)

牧野 夏子 (札幌市立大学)

眞鍋万里子 (旭川医科大学病院)

三上 育子 (市立釧路総合病院)

村中 沙織 (学校法人藤天使学園天使大学)

大和 美幸 (札幌医科大学附属病院)

和田 悠矢 (北海道科学大学)

第 28 回日本救急看護学会学術集会のご案内

メインテーマ

『救急看護の原点を探る』

開催日：2026 年 11 月 6 日（金）・2026 年 11 月 7 日（土）

会 場：長良川国際会議場・都ホテル岐阜長良川

会 長：河合正成（岐阜県立看護大学）

皆さん、こんにちは。第28回日本救急看護学会学術集会の会長を務めます、河合正成です。

この度、2026 年 11 月 6 日（金）・7 日（土）の二日間にわたり、長良川国際会議場・都ホテル岐阜長良川で開催します。信長公が覇を唱え天下布武を目指した日本の中心“岐阜県”で皆様をお迎えできることを心より嬉しく思います。

今回のテーマは、『救急看護の原点を探る』です。

看護の世界に飛び込み、救急の現場で患者さんと向き合う日々。私たちは常に、目の前の命を救うことに全力を注いできました。しかし、この数年で社会は大きく変化しました。AIやロボット技術が進化し、医療のあり方も多様化しています。便利な世の中になったからこそ、「そもそも、私たちは何のために看護をしているんだろう？」と、ふと立ち止まって考える瞬間があるのではないのでしょうか。

技術や知識ももちろん大切です。でも、患者さんの不安な心に寄り添い、優しく手を握る、そんな「人」にしかできない温かい看護こそが、私たちの仕事の「原点」だと私は信じています。

今回の学術集会では、皆さん一人ひとりが、日々の忙しさから少し離れて、この原点に立ち返るための時間を提供したいと思っています。

「発表って大変そう…」そう思っている方もいらっしゃるかもしれません。実は、私も発表は苦手です。だからこそ、今回は皆さんが気軽に一步を踏み出せるように、「初回登壇者」向けのセッションを用意しました。ベテランも若手も、全員が安心して自分の経験や思いを語り合える場にしたいのです。

また、今回は看護業界の外からも素晴らしいゲストをお招きする予定です。違う分野からの新しい視点や風を感じて、救急看護の未来を一緒に考えてみませんか？

この学術集会が、皆さんの記憶に残る二日間となるよう、心を込めて準備を進めています。

「行きたい！」そう思ってもらえたら嬉しいです。

会場でお会いできることを心より楽しみにしています。